



Salesforce アプリケーション管理ガイド

バージョン 9, Summer '18

作成者

Michelle Chapman-Thurber

寄稿者

Michael Floyd

Carol Franger

Tammy Rahn

Samantha Reynard

Emily Wilska

組織がSalesforceのモバイル操作性を活用できる環境を整えます。モバイル用ページレイアウトの最適化、ナビゲーションメニューのカスタマイズ、アクションの作成、コンパクトレイアウトの操作、モバイルナビゲーションの設定などを行う方法を学習します。

Salesforce アプリケーション管理ガイド

© Copyright 2000–2018 salesforce.com, inc. All rights reserved. Salesforce およびその他の名称や商標は、salesforce.com, inc. の登録商標です。本ドキュメントに記載された他の商標は、各社に所有権があります。

それぞれの商標は、それぞれの商標所有者に帰属します。

本出版物のいかなる部分も、発行者の事前の承諾なしに、電子的、機械的、写真複写、録音、またはその他のいかなる手段を問わず、いかなる様式でも、複製、情報検索システムへの保存、および伝達を禁止します。

本書の英語版と翻訳版で相違がある場合は英語版を優先するものとします。

目次

第 1 章: はじめに	1
Salesforce アプリケーションの概要	3
Salesforce アプリケーションの操作方法	3
他のモバイルアプリケーションとの連携	8
第 2 章: 組織のモバイル対応準備: 全体像	9
第 3 章: Salesforce アプリケーション向けの組織の設定	11
Salesforce モバイルウィザードによる Salesforce の使用準備	12
Salesforce アプリケーションを使用できるユーザの定義	13
通知の有効化または無効化	14
Salesforce アプリケーションの承認申請通知	15
ナビゲーションメニューのカスタマイズ	16
ナビゲーションメニューの仕組み	21
第 4 章: Salesforce アプリケーションでのデータの表示方法のカスタマイズ	23
Salesforce モバイルアプリケーションでのページレイアウトの機能	24
モバイルのためのページレイアウトの見直し	25
モバイル用ページレイアウトの最適化のヒント	27
コンパクトレイアウトの操作	28
コンパクトレイアウト	30
第 5 章: Salesforce アプリケーションでのアクションの使用	31
クイックアクションの操作	32
オブジェクト固有のアクションとグローバルアクション	33
その他のアクション種別	35
アクションレイアウト	36
アクションの定義済みの値の使用	39
カスタムアクション	40
アクションとページレイアウト	41
アクションのガイドラインとベストプラクティス	43

目次

第 6 章: Visualforce ページおよび Salesforce アプリケーション	45
Salesforce アプリケーションへの Visualforce ページの取り込み	46
Salesforce アプリケーションでの Visualforce ページのサポート	47
第 7 章: Salesforce アプリケーションをオフラインで使用	49
オフライン中の Salesforce アプリケーションのデータへのアクセス	50
オンライン中またはオフライン中の Salesforce アプリケーションでレコードの作成、編集、および削除 (ペータ)	53
Salesforce アプリケーションがオフライン時に使用できるデータおよび UI 要素	56
Salesforce アプリケーションのオフラインアクセスおよび編集を有効化	59
第 8 章: 独自の Salesforce アプリケーションにするためのカスタムプラン ド設定の使用	61
Salesforce アプリケーションのブランド設定のしくみ	62
Salesforce アプリケーションのブランド設定のヒント	63
第 9 章: 補足	65
第 10 章: 付録	67
Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバーでのアクションの順序 ..	68
Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバーおよびリスト項目アクションでの定義済みアクションの順序	69
Chatter が有効な場合と無効な場合のアクション	85
Salesforce アプリケーション機能: 各バージョンで使用可能な機能	87
Salesforce のエディションおよびライセンス	95

第1章

はじめに

トピック:

- Salesforce アプリケーションの概要
- Salesforce アプリケーションの操作方法
- 他のモバイルアプリケーションとの連携

Salesforce アプリケーションを使用すると、すべての Salesforce Platform をどのモバイルデバイスからでも利用できます。このアプリケーションにより、Chatter、CRM、ビジネスロジックが統合されるため、すべてのデータに接続できます。

Salesforce アプリケーションを使用すると、ユーザはカスタムオブジェクトおよびカスタムアプリケーションにナビゲーションメニューからアクセスでき、カスタムアクションを利用して主要なタスクをすべてモバイルデバイスから完了できます。また、ユーザのカスタムリストビューにアクセスする、対応が必要な投稿や承認の通知を受信する、新しい Today アプリケーションにその日の予定をすぐに表示する、モバイル向けに最適化されたさまざまな AppExchange アプリケーションから選択してインストールするといった操作もできます。

アプリケーションでは完全なカスタマイズが可能であるため、使い慣れたツールを使用してカスタムアプリケーションをモバイルに拡張できます。

このガイドでは、組織をモバイル対応にするプロセスについて説明します。これには、組織を設定することから、アプリケーションを公開して独自のブランド設定でカスタマイズすることまで含まれます。Salesforce モバイルウィザードを使用して、ナビゲーションメニューに表示される項目をすばやく設定する方法を学習します。また、ユーザがモバイルデバイスから重要な作業をすばやくできるようにするための、ページレイアウトの最適化、コンパクトレイアウトの操作、モバイル通知の設定、アクションのカスタマイズを行う方法も学習します。

『Salesforce アプリケーション管理ガイド』は、企業モバイルを組織に公開する Salesforce システム管理者にとって不可欠なリソースです。このガイドでは、カスタマイズされたモバイル操作環境の作成に必要なすべての宣言型(ポイント & クリック)ツールを紹介しています。

第1章 はじめに

このガイドを一読した後で、アプリケーションの開発を試してみる場合は、『[Salesforce アプリケーション開発者ガイド](#)』を参照してください。Developer Edition 組織で一連のサンプルデータと練習を通して、カスタムアクションの作成、Visualforce ページの操作、キャンバスアプリケーションとモバイル UI 設計の学習を行うことができます。

Salesforce アプリケーションの概要

Salesforce アプリケーションは、外出先で使用できる Salesforce です。これらのエンタープライズクラスのモバイルアプリケーションを使用すると、オフィスで表示するのと同じ情報にリアルタイムでアクセスできますが、情報は外出先での作業用に整理されて表示されるため、顧客とのミーティングの合間、飛行機の待ち時間などの貴重な自由時間や、コーヒーを待っているわずかな時間でも迅速に作業できます。

Salesforce は、次のように異なる方法で取得できます。

- iOS のアプリとして App Store から取得するか、Android のアプリとして Google Play から取得する。
- サポートされるモバイルブラウザで実行するモバイル Web 環境として取得する。
この方法では、何もインストールする必要はありません。

サポートされるデバイス

Salesforce にアクセスする方法は、Salesforce for iOS、Salesforce for Android、またはモバイル Web 上の Salesforce のどれを使用するかに応じて異なります。

オペレーティングシステムおよびバージョン要件	モバイルブラウザ要件*
Android 4.4 以降	Android の Google Chrome
iOS 10.3 以降	iOS の Apple Safari

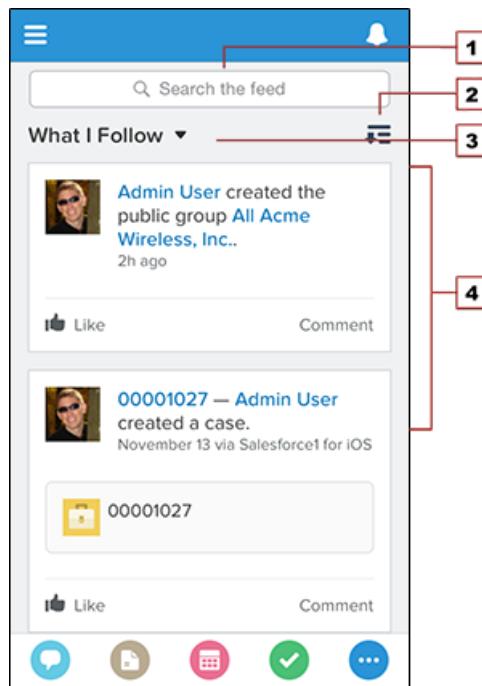
Salesforce アプリケーションの操作方法

Salesforce アプリケーションの概要を確認してみましょう。

ユーザが Salesforce にログインすると、最初にランディングページが表示されます。デフォルトでは、Salesforce ナビゲーションメニューの最初の項目がユーザのランディングページになります。組織で Chatter を有効にしていて、メニューの最初の項目を他の項目に変更するようにナビゲーションメニューをカスタマイズしていない場合は、ユーザのフィードがランディングページになります。

フィード

Chatter フィードには、自分の更新、フォローするレコードと人への更新、フォローするグループの更新が表示されます。フィード項目をタップすると、項目の詳細がすべて表示されます。フィードでプルダウンすると、検索バー(1)、並び替えオプションと検索条件オプション(2)、フィードドロップダウンメニュー(3)、フィード項目(4)が表示されます。

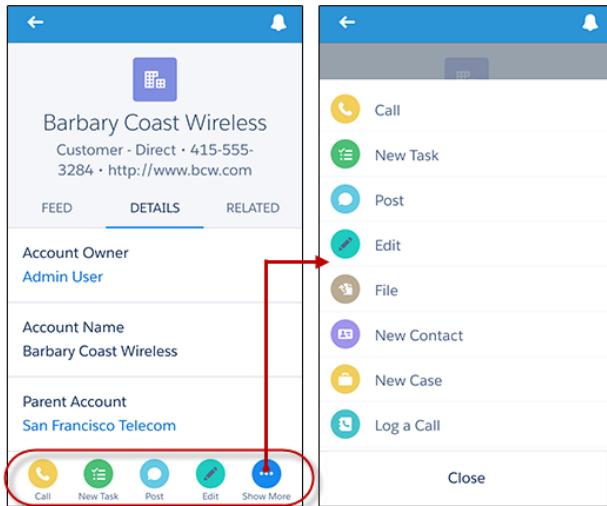


フィード、レコードページ、および Salesforce の他の場所から、ユーザはアクションバーを使用してアクションにアクセスします。

アクションバーとアクションメニュー

表示しているフィードまたはレコードページによっては、アクションバーとアクションメニューに異なるアクションが表示されます。たとえば、フィードからは、グローバルアクションのセットが表示されます。しかし、レコードページからは、生産性アクションの組み合わせ、標準ボタンとカスタムボタン、[投稿] や [ファイル] などの標

準Chatterアクション、そのレコードタイプのレイアウトに割り当てられたグローバルアクションとオブジェクト固有のアクションが表示されます。アクションバーから  をタップすると、オブジェクトに使用できるすべてのアクションのセットが含まれたアクションメニューが開きます。

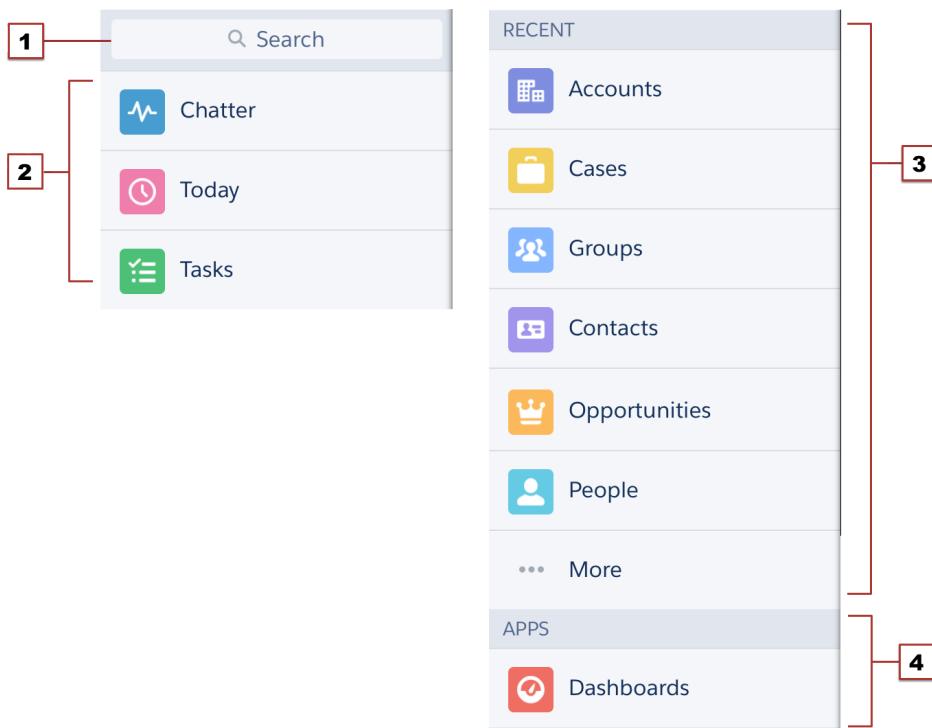


 メモ: アクションバーについての詳細は、付録「Salesforceモバイルアプリケーションのアクションバーおよびリスト項目アクションでの定義済みアクションの順序」または Salesforce ヘルプを参照してください。

Salesforce アプリケーションナビゲーションメニュー

 が表示される場所ならどこでも、これをタップしてナビゲーションメニューにアクセスできます。 が表示されていない場合、ヘッダーバー上を左から右にスワイプすることでナビゲーションメニューを開くことができます。

メニューに表示される内容は、システム管理者が行った設定、組織で利用可能な機能、各ユーザがそれぞれのユーザ権限とプロファイルを基にアクセスした内容によって決定されます。

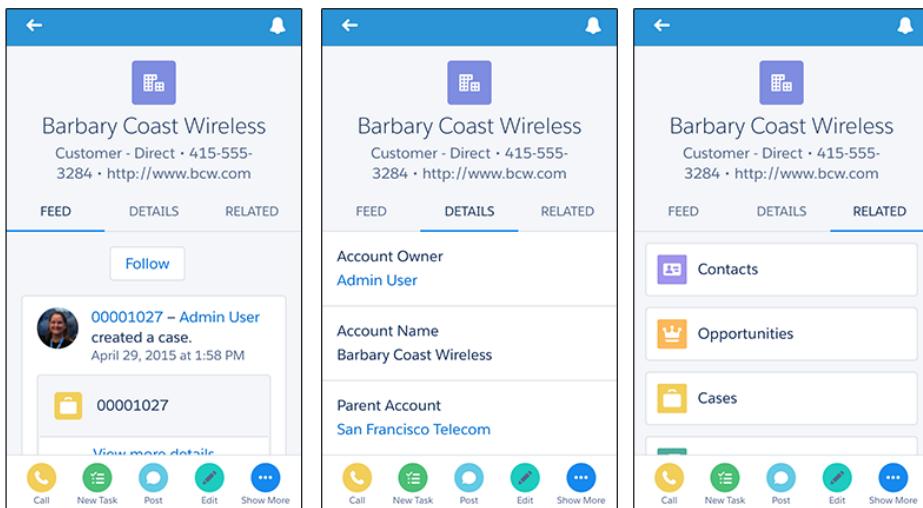


1. 検索ボックス
2. メニュー項目 — ナビゲーションメニューをカスタマイズするときに [スマート検索項目] の要素の上部に配置する項目
3. スマート検索項目 — [最近] セクションの最近検索したオブジェクトのセットや、[さらに表示] リンクにあるサポート対象の多数のオブジェクトのセットを含む
4. [アプリケーション] セクション — [スマート検索項目] の要素の下に配置したすべての項目を含む

ユーザは、ナビゲーションメニューから、フィード、オブジェクト、アプリケーション、ToDo、メモ、およびメニューに追加したすべての項目にアクセスできます。

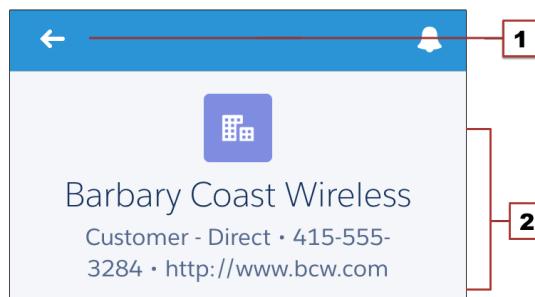
レコードビュー

レコードビューは、レコードフィード、詳細、関連情報ページで構成されます。これらを参照するには、画面を左右にスワイプします。組織でChatterを有効化していない場合、レコードビューに表示されるのは詳細ページおよび関連情報ページのみです。



各レコードページの上部にレコードの[特長]領域があります。標準オブジェクトのアイコンはSalesforceで事前定義されていますが、カスタムオブジェクトのアイコンはカスタムオブジェクトのタブスタイルを使用して選択できます。

コンパクトトレイアウトを使用して、レコードの[特長]に表示される項目をカスタマイズできます。



1. [戻る] 矢印—前のページに戻る
2. レコードの [特長]—オブジェクトのコンパクトレイアウトに割り当てられた最初の4つの項目が表示されます。

他にどのようなことを知る必要がありますか?

ほとんどのページの上部から、 をタップして通知にアクセスできます。

最近使ったオブジェクトのページ、検索ページ、関連リストページの上部の [新規] をタップして、新しいレコードを作成できます。また、アクションバーのアクションを使用してレコードを作成および更新することもできます。

他のモバイルアプリケーションとの連携

Salesforce アプリケーションが他の Salesforce Mobile 製品とどのように連携するのか気になります。

- SalesforceA により、システム管理者は、ビジネスの要となる組織管理タスクにモバイルアクセスできます。このアプリケーションでは、ユーザーアカウントの編集、ロック解除、凍結、無効化や、パスワードのリセット、権限セットの割り当てなどを行います。
- Salesforce Mobile Classic は、現在も Salesforce Mobile 製品の一部です。Salesforce Mobile Classic ユーザが、Salesforce アプリケーションのほうが自分のニーズに適していると思う可能性もありますが、オフラインモードで作成や編集が必要な場合は引き続き Salesforce Mobile Classic が最適な選択肢となります。

Salesforce モバイルアプリケーションのフルスイートの詳細は、Salesforce ヘルプの「Salesforce Mobile 製品の比較」を参照してください。

Salesforce アプリケーションは、すぐに使用できます。組織への操作を何も行わない場合は、ユーザはそのまま組織の情報にアクセスでき、アプリケーションで作業できます。ただし、システム管理者は、組織でいくつかの設定を行い、モバイル環境における組織のデータの表示方法をカスタマイズすることで、Salesforce¹を使用するモバイルユーザの操作性を大幅に向こなできます。

このガイドでは、次のすべての操作を行う方法と場所について説明します。

- Salesforce アプリケーションにアクセスできるユーザを定義する。
- アプリケーション内通知と転送通知を有効にすることで、Salesforce アプリケーションユーザが重要な Salesforce 活動を常に把握できるようにする。
- Salesforce for Android および Salesforce for iOS で、頻繁にアクセスする Salesforce データを安全な永続ストレージに自動的にキャッシュして、デバイスがオフラインのときでもユーザがデータを参照できるようにする(このオプションはデフォルトで有効になっています)。
- Salesforce アプリケーションナビゲーションメニューで使用可能なオプションと、項目が表示される順序をカスタマイズする。
- Salesforce アプリケーションでのデータの表示方法をカスタマイズする。
- 特定の事業内容と使用事例に合わせて調整されたアクションを作成することで、項目で簡単かつ効率的に作業できるようにする。
- 会社のブランドのデザインに合わせて Salesforce アプリケーションをカスタマイズする。

Salesforce アプリケーションのすべてのカスタマイズオプションは、[設定] メニューから使用できます。[Salesforce モバイル

第2章 組織のモバイル対応準備: 全体像

[クイックスタート]設定ページから、多くの設定ページにすばやくアクセスできます。Salesforce Classic の [設定] から、[設定] メニューの上部にある [Salesforce モバイルクイックスタート] をクリックします。Lightning Experience では、[設定] から [クイック検索] ボックスに「Salesforce モバイルクイックスタート」と入力し、[Salesforce モバイルクイックスタート] を選択します。

トピック:

- Salesforce モバイル ウィザードによる Salesforce の使用準備
- Salesforce アプリケーションを使用できるユーザの定義
- 通知の有効化または無効化
- ナビゲーションメニューのカスタマイズ

組織でいくつかの設定を行って、モバイルユーザが Salesforce で作業しやすくなります。この作業は短時間ででき、ユーザの操作性の向上に役立ちます。

Salesforce アプリケーションを使用できるユーザの定義、組織の主要な機能(アプリケーション内通知および転送通知など)の有効化または無効化、ナビゲーションメニューのカスタマイズを、数回のクリックで実行できます。この章では、これらのすべての操作について説明します。

Salesforce モバイルウィザードによる Salesforce の使用準備

Salesforce モバイルウィザードを使用すると、重要な設定タスクを簡単に完了できます。

ユーザが Salesforce アプリケーションをすばやく使用できるようにするには、ウィザードが理想的なツールです。主要なポイント & クリック設定の視覚的なツアーが提供され、組織のすべてのユーザに適用される次のオプションを設定できます。

- ナビゲーションメニューに表示する項目を指定する
- グローバルアクションを整理する
- 取引先責任者のカスタムコンパクトレイアウトを作成する

Salesforce モバイルウィザードでは、Salesforce アプリケーションの基本的な設定タスクを使用して開始できますが、ユーザのモバイル環境をさらに向上できる数多くのカスタマイズがあります。

Salesforce を初めて使用する場合、または組織で Salesforce アプリケーションのカスタマイズや設定をあまり行っていない場合は、ウィザードのステップを順に進めることをお勧めします。[設定] で、[クイック検索] ボックスに「Salesforce モバイル」と入力し、[Salesforce モバイルクイックスタート] を選択し、[クイックスタートウィザードを起動] をクリックします。

 **メモ:** Salesforce モバイルウィザードおよび [Salesforce の設定] ページには、Google Chrome の使用をお勧めします。Microsoft Internet Explorer 9 以降と Mozilla Firefox もサポートされています。

ウィザードを完了すると、[Salesforce モバイルクイックスタート] 設定ページに移動し、そこから設定ページとドキュメントに簡単にアクセスできます。単一ページで行う設定については、クイックスタートページから対象のページに直接リンクしています。[設定] の複数ページで指定可能な設定については、設定に関連するドキュメントへのリンクが提供されます。

Salesforce アプリケーションを使用できるユーザの定義

ユーザが Salesforce for iOS、Salesforce for Android、またはモバイル Web 用の Salesforce のどれを使用するかに関係なく、数回のクリックで、モバイルアクセス権を持つユーザを制御し、セキュリティを設定できます。

ダウンロード可能アプリケーション

Salesforce for Android および Salesforce for iOS は接続アプリケーションです。結果として、アプリケーションおよびその他のセキュリティポリシーへのアクセス権を持つユーザを制御できます。デフォルトでは、組織のすべてのユーザが¹ Salesforce for Android および Salesforce for iOS にログインできます。

管理対象の Salesforce 接続アプリケーションパッケージからインストールされた設定コンポーネントを使用して、Salesforce for Android および Salesforce for iOS のセキュリティポリシーおよびアクセスポリシーを制御できます。次のコンポーネントが Salesforce にインストールされている必要があります。

- Salesforce for Android
- Salesforce for iOS

ユーザの1人がモバイルデバイスに App Store または Google Play から Salesforce をインストールして、モバイルアプリケーションにログインして組織に認証されると、これらのコンポーネントが自動的にインストールされます。

または、Salesforce for Android および Salesforce for iOS をユーザに公開する前に、デフォルトのセキュリティ設定およびアクセス設定を確認して変更できるように、[Salesforce および Chatter アプリケーションの接続アプリケーションパッケージ](#)を手動でインストールできます。

Salesforce 接続アプリケーションコンポーネントがインストールされると、接続アプリケーションページに追加されます。([設定] から、[クイック検索] ボックスに「接続アプリケーション」と入力し、接続アプリケーションの管理オプションを選択します。) ここでは、プロファイル、権限、IP範囲制限へのユーザアクセスの制御を含む、各アプリケーションの設定を表示および編集できます。制限されているユーザが Salesforce for Android または Salesforce for iOS にログインしようとすると、エラーメッセージが表示されます。

モバイルブラウザアプリケーション

サポート対象のモバイルブラウザから Salesforce にログインするときに Salesforce モバイル Web にアクセスできるかどうかを制御できます。デフォルトでは、組織のモバイル Web は有効になっています。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「設定」と入力し、[Salesforce の設定] を選択します。
2. [Salesforce モバイル Web を有効化] を選択すると、組織のすべてのユーザ がアプリケーションにアクセスできます。アプリケーションへのアクセスを無効にするには、このオプションを選択解除します。
3. [保存] をクリックします。

このオプションがオンになっていると、サポートされているモバイルブラウザから Salesforce にログインしたユーザは、Salesforce モバイル Web 環境に自動的に転送されます。サポートされていないモバイルブラウザからログインすると、このオプションが選択されていても Salesforce Classic フルサイトが読み込まれます。

! **重要:** モバイルブラウザでの Salesforce Classic フルサイトの使用はサポートされていません。組織で Salesforce モバイル Web を無効にし、個々のユーザが各自でモバイル Web をオフにできますが、モバイルブラウザでのフルサイトの常用はお勧めしません。Salesforce カスタマーサポートが調査できない問題が発生する可能性があります。

Lightning Experience フルサイトには、どのモバイルブラウザからもアクセスできません。

通知の有効化または無効化

通知により、Salesforce で特定のイベントが発生した場合にユーザに知らせることができます。たとえば、ユーザが承認申請を受信した場合や Chatter でメンションされた場合にユーザに通知します。

[設定] の [Salesforce アプリケーション通知] ページで、通知を有効または無効にすることができます。デフォルトでは、通知が有効になっています。

Salesforce アプリケーションユーザには次の種別の通知が表示される可能性があります。

アプリケーション内通知

アプリケーション内通知は、ユーザが Salesforce アプリケーションを使用しているときに関連活動を常にユーザに知らせます。□をタップすると、過去90日以内に受信した最新の 20 件の通知を参照できます。

組織で Salesforce コミュニティを有効にすると、ユーザに各自がメンバーになっているすべてのコミュニティからの通知が表示されます。通知がどのコミュニティから発信されたものかをユーザが識別しやすいように、タイムスタンプの後にコミュニティ名がリスト表示されます。

-  **メモ:** アプリケーション内通知の有効化は、オールオアナッシングのプロセスです。全員に対して有効にするか、全員に対して無効にするかのどちらかです。モバイルユーザが自分でアプリケーション内通知をカスタマイズ、有効化または無効化することはできません。

転送通知

転送通知とは、ユーザによってインストールされた Salesforce for Android および Salesforce for iOS が使用されていないとき、モバイルデバイスに表示されるアラートです。これらのアラートは、デバイスの種類に応じて、テキスト、アイコン、音で構成されます。システム管理者が組織に対して転送通知を有効にすると、各ユーザは自分のデバイスに転送通知を受信するかどうかを選択できます。

Salesforce アプリケーションの承認申請通知

Salesforce アプリケーションではユーザが承認申請を通知として受信できます。通知には□をタップするか、ナビゲーションメニューの[承認申請]項目からアクセスします。

Salesforce アプリケーションの承認通知については、次の点に注意してください。

- Salesforce アプリケーションで通知を有効にしている場合、承認者がモバイルデバイスでこの項目のリストを参照可能になります。ユーザがレコードの承認または却下を決定するために必要な項目のみを選択してください。
- Salesforce アプリケーションでの承認申請通知は、キューには送信されません。個人ユーザが Salesforce アプリケーションで承認申請通知を受信できるように、キューを伴う各承認ステップで、割り当てられた承認者としてそれらの個人ユーザを追加することをお勧めします。割り当てられた承認者としてキューと個人ユーザの

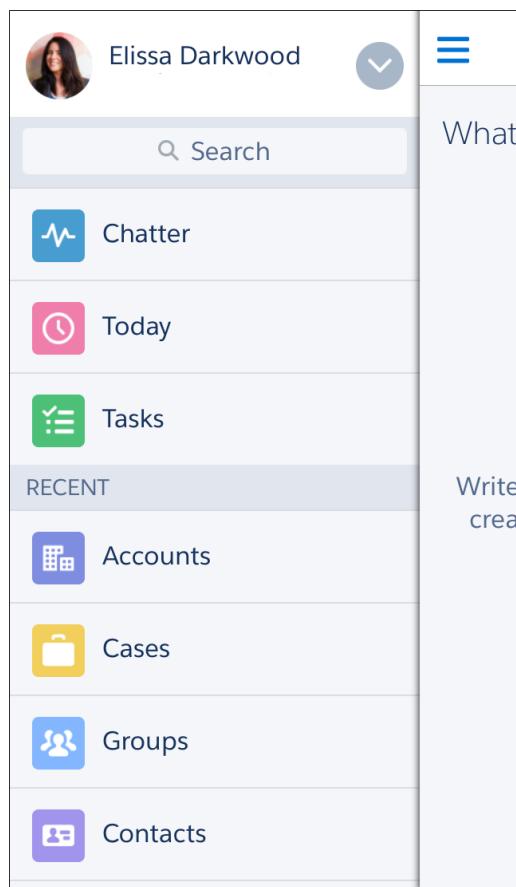
両方を設定するには、承認ステップで [自動的にキューに割り当てる] の代わりに [自動的に承認者に割り当てる] を選択します。

- メールでの承認申請の通知とは異なり、Salesforce アプリケーションでの承認申請の通知は、承認対象のレコードへのアクセス権を持つユーザのみに送信されます。レコードへのアクセス権のない承認者は、承認通知メールを受信することはできますが、レコードアクセス権が付与されるまで、承認申請を処理することはできません。
- 各ユーザは、[承認申請メールを受信] ユーザ項目を使用して、メールおよび Salesforce1 での承認申請通知を選択または選択解除できます。

ナビゲーションメニューのカスタマイズ

ユーザをモバイルの冒險に送り出す前に、目的地への順路を示す地図を用意する必要があります。Salesforce アプリケーションナビゲーションメニューがその地図になります。どのような地図を描くかはあなた次第です。ナビゲーションメニューの表示項目と順序を設定して、モバイルユーザが作業をすばやく簡単に実行できるようにします。

ヘッダーの  アイコンでナビゲーションメニューが開きます。



システム管理者は、[設定]から [クイック検索] ボックスに「ナビゲーションメニュー」と入力し、[ナビゲーションメニュー]を選択して、メニューに含める内容をカスタマイズできます。

メニューに含めることができる項目

組織の設定方法およびユーザのアクセス権に応じて、次の一部またはすべての項目がナビゲーションメニューに表示されます。

第3章 Salesforce アプリケーション向けの組織の設定

メニュー項目	説明
承認申請	ユーザの保留中の承認のリストを表示します。ユーザは承認項目をタップして、Salesforceからその項目を承認または拒否できます。Salesforce for iOS およびモバイル Web でのみ使用できます。
キャンバスアプリケーション	組織がナビゲーションメニューでこのアプリケーションを有効にしている場合に表示されます。
Chatter	ユーザのメインフィード。Chatterを有効にしている組織に表示されます。
ダッシュボード	エディションおよびユーザ権限によって使用可能かどうかが決まります。この項目をナビゲーションメニューに追加しない場合、代わりにダッシュボードが[スマート検索項目]のセットに自動的に追加され、[ダッシュボード]項目を[最近]セクションから使用できるようになります。
行動	リストに、ユーザが所有する行動、ユーザ自身が作成した行動、およびユーザまたはユーザのグループが招待された行動が表示されます。この項目をナビゲーションメニューに追加しない場合、代わりに行動が[スマート検索項目]のセットに自動的に追加され、[行動]項目を[最近]セクションから使用できるようになります。
売上予測	売上予測アプリケーション(営業チームの各メンバーが売上予測データを追跡して、目標に対する進捗状況を監視するための便利なツール)が表示されます。Salesforce for Android および Salesforce for iOS でのみ使用できます。
	<p> メモ: 組織で[コラボレーション売上予測]を有効にしておく必要があります。組織でカスタマイズブル売上予測を使用している場合、[売上予測]項目をナビゲーションメニューに追加することはできません。</p>
グループ	Chatterを有効にしている組織に表示されます。この項目をナビゲーションメニューに追加しない場合、代わりにグループが[スマート検索項目]のセットに自動的に追加され、[グループ]項目を[最近]セクションから使用できるようになります。

メニュー項目	説明
Lightning コンポーネントタブ	ナビゲーションメニューには、Lightning コンポーネントタブが関連付けられているカスタム Lightning コンポーネントのみが表示されます。
Lightning ページ	カスタムアプリケーションページ。
ニュース	ニュースアプリケーションが表示され、ユーザの取引先、取引先責任者、リード、および商談についてのニュースとインサイトを1か所で把握できます。
メモ	メモアプリケーションが表示されます。この項目をナビゲーションメニューに追加しない場合、代わりにメモが[スマート検索項目]のセットに自動的に追加され、[メモ]項目を[最近]セクションから使用できるようになります。
一時停止中のフロー インタビュー	ユーザが一時停止したフローインタビューのリストが表示されます。インタビューは、フローの実行中のインスタンスです。ユーザは、インタビューをタップして再開または削除できます。Salesforce モバイル Web でのみ使用できます。
人	Chatter を有効にしている組織に表示されます。この項目をナビゲーションメニューに追加しない場合、代わりにプロファイルが[スマート検索項目]のセットに自動的に追加され、[人]項目を[最近]セクションから使用できるようになります。
レポート	エディションおよびユーザ権限によって使用可能かどうかが決まります。この項目をナビゲーションメニューに追加しない場合、代わりにレポートが[スマート検索項目]のセットに自動的に追加され、[レポート]項目を[最近]セクションから使用できるようになります。
スマート検索項目	メニューの[最近]セクションに標準およびカスタムの Salesforce オブジェクトを追加します。また、ユーザが最近アクセスした一連のオブジェクトを[最近]セクションに追加したり、[さらに表示]項目を追加したりします。こうした動作によって、ユーザが自身に使用権限があり、サポートされているすべてのオブジェクトにアクセスできるようになります。この項目をナビ

第3章 Salesforce アプリケーション向けの組織の設定

メニュー項目	説明
	<p>ゲーションメニューに追加しない場合、ユーザはナビゲーションメニューのオブジェクトにアクセスできません。</p> <p> メモ: Salesforce for Android および Salesforce for iOS でユーザが検索結果を得るには、[スマート検索項目]が必要です。このオプションがナビゲーションメニューから除かれている場合は、Salesforce for Android および Salesforce for iOS のユーザと Salesforce モバイル Web のユーザがレコードを検索できます。</p> <p>iOS ダウンロード可能アプリケーションユーザに最近使ったオブジェクトの履歴がまだない場合は、[最近]セクションに一連のデフォルトオブジェクトが表示されます。Salesforce for Android および Salesforce モバイル Web では、オブジェクトのデフォルトセットは、システム管理者が Lightning アプリケーションで設定した Lightning Experience ナビゲーションバーに一致します。ユーザに Lightning アプリケーションへのアクセス権または権限がない場合、ユーザが最も頻繁に使用するオブジェクトが決まるまで、オブジェクトのデフォルトセットも表示されます。Salesforce アプリケーションと Salesforce フルサイトのどちらも、ユーザが當時操作するオブジェクトが[最近]セクションに表示されるまでに最大15日かかることがあります。[最近]セクションにオブジェクトがすぐに表示されるようにするには、フルサイトの検索結果画面からそれらのオブジェクトを固定します。</p>
ToDo	ユーザの未完了の ToDo、完了した ToDo、および代理 ToDo のリストです。この項目をナビゲーションメニューに追加しない場合、代わりに ToDo が [スマート検索項目] のセットに自動的に追加され、[ToDo] 項目を [最近] セクションから使用できるようになります。
Today	モバイルカレンダーの行動を関連する Salesforce の ToDo、取引先、および取引先責任者と統合することで、1日のスケジュールの計画や管理をサポートするアプリケーションです。このアプリケーションでは、ユーザがカンファレンスコールにすぐに参加したり、行動に関するメモをすばやく記録したりすること

メニュー項目	説明
	もできます。Salesforce for Android および Salesforce for iOS でのみ使用できます。
Visualforceページのタブ	[Lightning Experience、Salesforce アプリケーション、Lightning コミュニティで利用可能] チェックボックスがオフになっている Visualforce ページのみが Salesforce アプリケーションに表示されます。

Visualforceページについては、後の章で簡単に説明します。詳しく調べるには、『[Salesforce アプリケーション開発者ガイド](#)』の「Visualforceページを使用した Salesforce アプリケーションの拡張」を参照してください。

ナビゲーションメニューの仕組み

- ・ [選択済み] リストの最初の項目が、ユーザの Salesforce アプリケーションのランディングページに表示されます。
- ・ ユーザの種別ごとに異なるメニューを設定することはできません。
- ・ メニュー項目を編成するときは、ユーザが頻繁に使用する項目を上部に配置します。[スマート検索項目] の要素は 8 つ以上のメニュー項目から成る 1 つのセットに拡張できます。このセットをメニューの上部付近に配置すると、他の要素がスクロールポイントの下に押し下げられることがあります。[スマート検索項目] の要素の下に配置したものはすべて、ナビゲーションメニューの [アプリケーション] セクションに表示されます。
- ・ Visualforce ページ、Lightning ページ、または Lightning コンポーネントを Salesforce アプリケーションナビゲーションメニューに含める前に、それらのタブを作成します。[設定] から、[クイック検索] ボックスに「タブ」と入力し、[タブ] を選択します。
- ・ 標準オブジェクトおよびカスタムオブジェクト、Visualforce ページ、Chatter フィード、人、グループなど、Salesforce でタブ表示される内容は、Salesforce アプリケーションメニューでユーザのプロファイル設定に基づいて表示されます。たとえば、[グループ] タブが [タブを隠す] に設定されているプロファイルにユーザが割り当てられている場合、システム管理者が [グループ] をメニューに組み込んでいても、そのユーザの Salesforce アプリケーションには [グループ] メニュー項目が表示されません。

一部のオブジェクトは、最近アクセスしていても、ナビゲーションメニューの[最近]セクションから除外されます。

- 人、グループ、メモ、ダッシュボード、レポート、ToDo、行動(これらの項目がナビゲーションメニューに直接追加された場合)
- オブジェクトのホームページのみに表示され、ナビゲーションメニューには表示されないリストビュー
- Salesforce フルサイトにタブがないオブジェクトを含む、Salesforce アプリケーションで使用できないオブジェクト

ダッシュボード、レポート、メモ、ToDo、行動、グループ、人のメニュー項目について

[ダッシュボード]、[レポート]、[メモ]、[ToDo]、[行動]、[グループ]、または[人]項目をナビゲーションメニューの[選択済み]リストに追加する場合、これらの項目は、[今日]やその他の個別メニュー項目と同様に、指定した順序で表示されます。

一方、これらの項目をナビゲーションメニューに追加していない場合、これらの項目はオブジェクトのスマート検索項目セットに自動的に組み込まれ、ナビゲーションメニューの[最近]セクションに表示されます。

オブジェクトを[最近]セクションに固定

ユーザは、ナビゲーションメニューの[最近]セクションに表示されるオブジェクトをカスタマイズできます。オブジェクトをフルサイトで検索する場合は、オブジェクトの名前の上にマウスを置いて、 をクリックすると、そのオブジェクトが検索結果の上部に固定されます。フルサイトに固定されたオブジェクトの順序によって、ナビゲーションメニューの[最近]セクションの上部に固定されるオブジェクトの順序が決まります。ただし、この方法でオブジェクトを固定すると、[最近]セクションの固定されていない残りのオブジェクトが[その他]要素にドロップされる可能性があります。

トピック:

- Salesforce モバイル
アプリケーション
でのページレイア
ウトの機能
- コンパクトレイア
ウトの操作

Salesforce アプリケーション用に組織の設定を行ったら、ユー
ザのモバイル操作環境を最適化するために Salesforce フルサ
イトで他にできる操作を検討します。

Salesforce アプリケーションでの情報の表示方法には、2つの
要素が影響します。1つは従来のページレイアウトです。も
う1つは新しいコンパクトレイアウトです。この章では、こ
の両方について説明します。

Salesforce モバイルアプリケーションでのページレイアウトの機能

高度なページレイアウトエディタを使用して、オブジェクトのレコード詳細ページのレイアウトをカスタマイズし、アクションを設定し、Salesforce モバイルアプリケーションに表示される項目と関連リストを調整します。

Salesforce モバイルアプリケーションでは、ページレイアウトでモバイル環境の次の領域を決定します。

レコードの関連情報および詳細ページ

モバイルアプリケーションでレコードを参照する場合、レコードタイプやユーザのプロファイルに基づいて、項目、Visualforce ページ、および関連リストが表示されます。関連リストは、ページまたは関連リストの名前が記載された1行のカードとして表示されます。関連リストカードをタップすると、その詳細が表示されます。

モバイルカード

ページレイアウトの [モバイルカード] セクションに拡張ルックアップ、コンポーネント、キャンバスアプリケーション、および Visualforce ページを追加すると、モバイルアプリケーションにモバイルカードとして表示できます。このセクションに配置した要素は、Salesforce フルサイトのレコードの詳細ページには表示されません。これらは、モバイルアプリケーションのレコードの関連情報ページにのみ表示されます。



メモ: Spring '14 より後に作成された組織では、ページレイアウトの [モバイルカード] セクションに、サポートオブジェクトとして Twitter コンポーネントがデフォルトで追加されます。

アクション

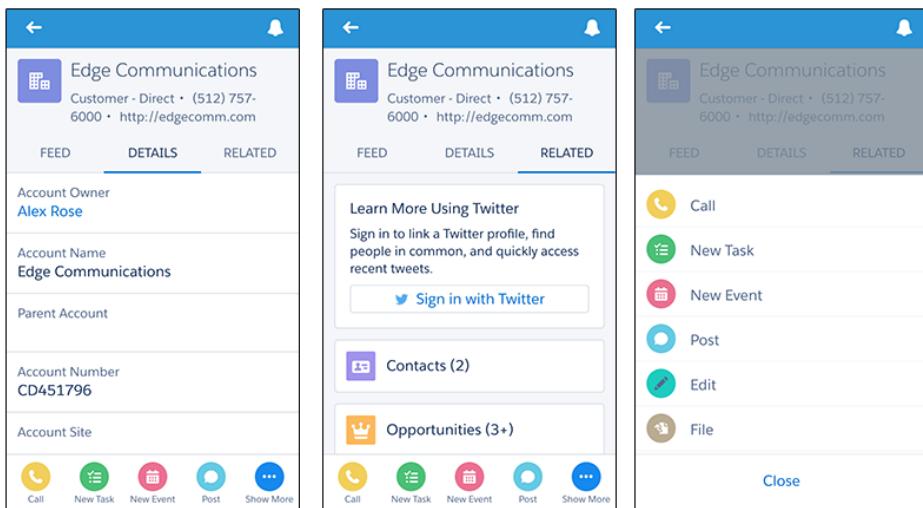
ページレイアウトの [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションのアクションは、オブジェクトのレコードページのアクションバーとアクションメニューに表示されます。

サンプル取引先 Edge Communications のレコード詳細ページ、関連情報ページ、アクションメニューは、次のようにになります。

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic と
Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Database.com Edition を除くすべてのエディション



モバイルのためのページレイアウトの見直し

数十個の項目と多くの関連リストが表示されるページレイアウトは、コンピュータの画面でレコードを表示するときは処理しやすい場合もありますが、小さいモバイルデバイスでは同じレコードの表示には全く適さない可能性があります。モバイルデバイスを使用して情報にアクセスするユーザは必要な情報をすばやく入手する方法を求めていました。数百の項目や関連リストから取捨選択させることは意味がありません。

たとえば、Express Logistics and Transport のカスタム取引先ページレイアウトに、32 個の標準項目とカスタム項目があるとします。項目数としてはそれほど多くないように思えますが、モバイルコンテキストではすぐにいっぽいになってしまいます。Salesforce フルサイトの場合、Express Logistics and Transport の取引先詳細ページは次のようになります。

第4章 Salesforce アプリケーションでのデータの表示方法のカスタマイズ

Account Detail		Edit	Delete	Include Offline
Account Owner	Admin User [Change]	Rating	Cold	
Account Name	Express Logistics and Transport View Hierarchy	Phone	(503) 421-7800	
Parent Account		Fax	(503) 421-7801	
Account Number	CC947211	Website	http://www.expressl&t.net	
Account Site		Ticker Symbol	EXLT	
Type	Customer - Channel	Ownership	Public	
Industry	Transportation	Employees	12,300	
Annual Revenue	\$950,000,000	SIC Code	8742	
Location				
Business Hours				
Time Zone				
Billing Address	620 SW 5th Avenue Suite 400 Portland, Oregon 97204 United States Portland, OR	Shipping Address	620 SW 5th Avenue Suite 400 Portland, Oregon 97204 United States	
Customer Priority	Medium	SLA	Platinum	
SLA Expiration Date	5/14/2013	SLA Serial Number	4724	
Number of Locations	150	Upsell Opportunity	Maybe	
Active	Yes			
Created By	Admin User , 10/16/2013 2:25 PM	Last Modified By	Admin User , 10/16/2013 2:25 PM	
Description	Commercial logistics and transportation company.			
Custom Links	Billing			
		Edit	Delete	Include Offline

Salesforce アプリケーションでは、同じ取引先詳細ページが次のように表示されます。

The screenshots show the Salesforce mobile application interface for viewing account details. The first screenshot shows the main account summary with tabs for FEED, DETAILS (selected), and RELATED. The second and third screenshots show detailed information for each tab: DETAILS, RELATED, and FEED respectively.

Tab	Information
DETAILS	Express Logistics and Transport Customer - Channel • (503) 421-7800 • www.expressl&t.net Account Owner: Alex Rose Account Name: Express Logistics and Transport Parent Account: None Account Number: CC947211 Billing Address: 620 SW 5th Avenue Suite 400, Portland, Oregon 97204, United States Phone: (503) 421-7800 Fax: (503) 421-7801 Annual Revenue: \$950,000,000 Rating: Cold Employees: 12,300 SIC Code: 8742 Website: http://www.expressl&t.net Ticker Symbol: EXLT Ownership: Public
RELATED	Account Site: None Type: Customer - Channel Industry: Transportation Annual Revenue: \$950,000,000 Rating: Cold Employees: 12,300 SIC Code: 8742 Billing Address: 620 SW 5th Avenue Suite 400, Portland, Oregon 97204, United States Phone: (503) 421-7800 Fax: (503) 421-7801
FEED	Website: http://www.expressl&t.net Ticker Symbol: EXLT Ownership: Public Employees: 12,300 SIC Code: 8742 Billing Address: 620 SW 5th Avenue Suite 400, Portland, Oregon 97204, United States Phone: (503) 421-7800 Fax: (503) 421-7801

ここには3ページのみが表示されていますが、スクロールするのは5ページで、これは項目が32個しか含まれないページレイアウトです。モバイルユーザが、携帯電話で数十項目のレコード詳細の中から特定の項目を見つけようとすると、何度もスクロールしなければならなくなります。これは最適なユーザ環境とは言えません。ユーザの生産性は確実に低下します。

モバイルユーザのページレイアウトは、2つの方法(既存のページレイアウトを再設計する方法、またはモバイルで使いやすい新しいページレイアウトを最初から作成する方法)で処理できます。

モバイル用ページレイアウトの最適化のヒント

多くの場合、モバイル専用のページレイアウトを新しく作成する意味はありません。次に、既存のページレイアウトをモバイルで使いやすくするためのヒントと使用方法を示します。

ページレイアウトを最適化するときに、次の点に留意してください。

- 一目でわかるようにすべき重要な情報は?
- Salesforce モバイルアプリケーションで作業するユーザにとって重要なタイミングは?
- ユーザが手動で操作する必要がないように自動化できるアクションまたはプロセスは?

重要: 項目を整理し、最小限にする

- セクションを使用して情報を論理的に整理します。最も重要な情報は、最初に表示されるようにページ上部に配置します。ユーザは項目を個別に検索することを望みません。類似した項目をセクションで整理すると、必要な情報が見つかりやすくなります。これにより、関心があるセクションまでページを容易に下へスクロールできます。
- 取引先、取引先責任者、リードの場合、上部付近に電話項目やメール項目を配置する必要はありません。これらの項目にはすでに、各レコードページのアクションバーにある  および  アイコンを使用してすばやくアクセスできるようになっています。

- ページは参照しているデバイスに基づいて動的に表示されるため、項目を1列に揃える必要はありません。電話では項目が1列に並び替えられ、タブレットまたはデスクトップでは2列で表示されます。
- 最も重要な項目をコンパクトレイアウトに配置します。コンパクトレイアウトでは、モバイルアプリケーションのレコードの特長とレコードプレビューカードを利用できます。そのため、項目が目につきやすく、モバイルユーザがレコード詳細までドリルダウンする必要はありません。コンパクトレイアウトの詳細については、後ほど説明します。
- 必須項目数を最小限に抑えます。項目を必須に設定すると、すべてのページレイアウトの詳細ページに表示されることになります。そのため、各項目が本当に必須かどうかを検討してください。レコードの特定の項目は実際には保存する必要はないことを関係者に知らせる必要がある場合があります。
- すべてのレコードに共通するとは限らない項目をすべてのレコードで表示する必要がないように、組織で利用可能な場合はレコードタイプの使用を検討してください。
- 画面に表示するレコード数を削減するには、ユーザにデータを入力させる代わりに、新しいレコードにデフォルト値を使用することを検討してください。

コンパクトレイアウトの操作

モバイル環境における Salesforce データの表示方法をカスタマイズできるのは、ページレイアウトだけではありません。コンパクトレイアウトには、Salesforce モバイルアプリケーションと Lightning Experience のレコードの主要項目が一目でわかるように表示されます。

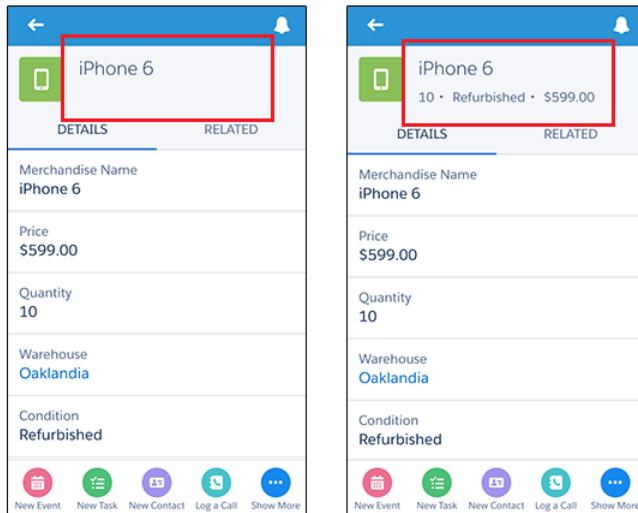
Salesforce アプリケーションではシステムのデフォルトが標準装備されているため、オブジェクトのコンパクトレイアウトの作成とカスタマイズは必須ではありません。ただし、モバイルユーザが必要な情報をすばやく取得できるようにするには、コンパクトレイアウトを使用して、重要な項目をオブジェクトレコードヘッダー(および他の場所)に配置することをお勧めします。

Salesforce フルサイトでは、ユーザがクイックアクションを使用してレコードを作成した後で Chatter フィード項目に表示される項目が、コンパクトレイアウトによって決まります。

Salesforce モバイルアプリケーションでは、コンパクトレイアウトに割り当てた最初の4つの項目が、次の場所に表示されます。

- オブジェクトレコードの [特長] 領域
- レコードの関連情報ページの拡張ルックアップカード

たとえば、オブジェクトのコンパクトレイアウトをカスタマイズする前とカスタマイズした後のSalesforceの商品レコードページのスクリーンショットは、次のようにになります。



モバイルユーザが必要とする重要な項目をオブジェクトのコンパクトレイアウトに配置すると、レコードページの [特長] 領域をスキャンするだけで情報をすばやく取得できます。

ページレイアウトと同様に、各オブジェクトには個別のコンパクトレイアウトがあります。デフォルトでは、各オブジェクトはそのレコードの [特長] 項目、プレビューカード、およびアクション関連フィード項目を、オブジェクトの参照のみのシステムデフォルトコンパクトレイアウト内にある一連の定義済み項目から取得します。カスタムコンパクトレイアウトをオブジェクト単位で作成できます。カスタムコンパクトレイアウトを1つ以上作成したら、その1つをオブジェクトの主コンパクトレイアウトとして設定します。その後、この主コンパクトレイアウトがこのオブジェクトの新しいデフォルトとして使用されます。

コンパクトレイアウト

コンパクトレイアウトの動作に関する追加情報を示します。

コンパクトレイアウトでは、次を除くすべての項目種別がサポートされています。

- テキストエリア
- ロングテキストエリア
- リッチテキストエリア
- 複数選択リスト

コンパクトレイアウトに割り当てたいいずれかの項目に対してユーザにアクセス権がない場合は、レイアウトの次の項目が使用されます。

ページレイアウトから項目を削除しても、オブジェクトのコンパクトレイアウトからは削除されません。2つのレイアウトタイプは独立しています。

コンパクトレイアウトとレコードタイプ

オブジェクトに関連付けられたレコードタイプがある場合、オブジェクトの主コンパクトレイアウトを上書きして、別のコンパクトレイアウトを一部またはすべてのレコードタイプに割り当てるすることができます。各レコードタイプに割り当てることができるコンパクトレイアウトは1つのみです。レコードタイプの上書きを設定しないと、デフォルトでは、すべてのレコードタイプでオブジェクトの主コンパクトレイアウトが使用されます。

コンパクトレイアウトとレコードタイプについての詳細は、Salesforce ヘルプの「レコードタイプへのコンパクトレイアウトの割り当て」を参照してください。

トピック:

- クイックアクションの操作
- オブジェクト固有のアクションとグローバルアクション
- アクションレイアウト
- アクションの定義済みの値の使用
- カスタムアクション
- アクションとページレイアウト
- アクションのガイドラインとベストプラクティス

システム管理者は、固有のアクションを作成して、すべてのユーザが貴重なわずかな時間も無駄にしないようにすることができます。Salesforce アプリケーションに固有のアクションを作成する場合、モバイル環境でどのような操作を希望するかをユーザに確認します。

たとえば、食品サービス会社のシステム管理者なら、配達者が客先にいる間に余分な食品や足りない食品を携帯電話からすぐに注文できる「緊急注文」アクションを作成することができます。Salesforce アプリケーション用のアクションを作成することによって組織での導入が推進されるため、ユーザにも大変喜ばれます。

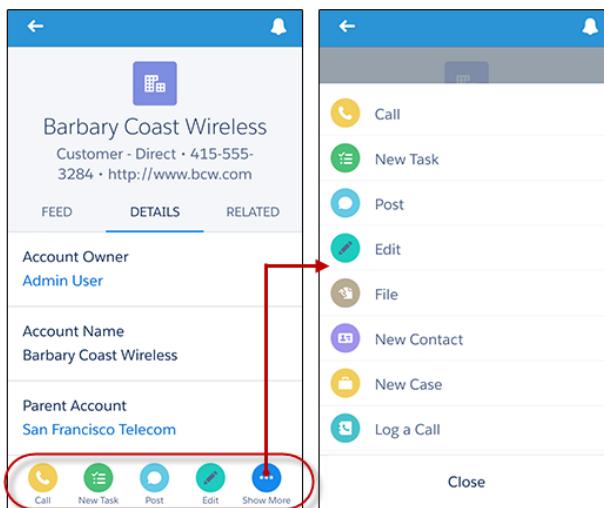
この章では、アクションの種別とカテゴリ、ポイント & クリックツールを使用して Salesforce でアクションを作成およびカスタマイズする方法、外出中でもモバイルユーザが重要な作業を行うのにアクションがどのように役立つかについて説明します。

クリックアクションの操作

クリックアクションを使用すると、Salesforce および Salesforce モバイルアプリケーションでユーザが実行できる操作が増えます。カスタムクリックアクションを使用してユーザが最も重要な情報に簡単にアクセスできるようにすることで、ユーザの操作やワークフローがスムーズになります。たとえば、ユーザがレコードの作成および更新や活動の記録を Chatter フィードで直接実行したり、モバイルデバイスから実行したりできます。

クリックアクションを作成し、Salesforce Classic ホームページ、Chatter タブ、Chatter グループ、レコード詳細ページに追加します。作成アクションや更新アクションなどの標準クリックアクションから選択するか、会社のニーズに基づいてカスタムアクションを作成します。

アクションバーおよびアクションメニューの Salesforce モバイルアプリケーションアクション



クリックアクションを作成したら、カスタマイズできます。クリックアクションには独自のアクションレイアウトがあり、アクションに含める項目およびその順序を指定できます。

Salesforce アプリケーションのアクションを設定する手順は、次のとおりです。

1. グローバルアクションまたはオブジェクト固有のアクションを作成します。
2. 使用時にユーザに表示される項目を選択して、アクションのレイアウトをカスタマイズします。
3. オブジェクト固有のアクションを作成した場合は、そのオブジェクトの1つ以上のページレイアウトに追加します。グローバルアクションを作成した場合は、グローバルパブリッシャーレイアウトに追加します。
4. 可能な場合は、必須項目の定義済み項目値を設定します。

では、アクションの種別とカテゴリについて見てみましょう。まず、グローバルアクションとオブジェクト固有のアクションを確認します。

オブジェクト固有のアクションとグローバルアクション

作成するアクションの種類に関係なく、最初に、アクションをオブジェクト固有またはグローバルのどちらにするかを決定する必要があります。この決定は、アクションを明示的にオブジェクトに関連付ける必要があるかどうか、およびアクションをどこに表示するかに基づいて行う必要があります。

違いを確認してみましょう。

オブジェクト固有のアクション

オブジェクト固有のアクションは、オブジェクトのコンテキストで作成します。アクションを作成するオブジェクトの管理設定から、[ボタン、リンク、およびアクション]に移動します。そのオブジェクトのページレイアウトに追加できるのは、オブジェクト固有のアクションのみです。

オブジェクト固有のアクションの種別には次の5つがあります。

- オブジェクト固有の作成アクションでは、レコードが作成されて関連レコードに自動的に関連付けられます。たとえば、取引先オブジェクトにオブジェクト固有のアクションを追加して、取引先責任者を作成できるようにします。ユーザが、そのアクションで Acme 取引先の詳細ページに取引先責任者を作成すると、新しい取引先責任者は Acme と関連付けられます。

- オブジェクト固有の [レコードを更新] アクションでは、ユーザが簡単にレコードを編集できます。更新が可能な項目を定義できます。
- オブジェクト固有の活動の記録アクションでは、ユーザは特定のレコードに関連する通話、会議、その他のやりとりに関するメモを入力できます。
- オブジェクト固有のカスタムアクションで Lightning コンポーネント、フロー、Visualforce ページ、またはキャンバスアプリケーションを呼び出すことで、オブジェクトレコードにリレーションを持つレコードをユーザが操作または作成できます。オブジェクト固有のカスタムアクションの Visualforce ページには、関連するオブジェクト用の標準コントローラを含める必要があります。たとえば、ユーザが取引先責任者の Twitter プロファイルをインポートし、その情報を取引先責任者レコードに追加することができるカスタムアクションを作成するには、標準取引先責任者コントローラを使用します。
- ケースでのみ使用できるオブジェクト固有の [メールを送信] アクションにより、ユーザは Salesforce モバイルアプリケーションでケースフィードの [メール] アクション (簡易版) にアクセスできます。ケース固有の [メールを送信] アクションは、Salesforce Classic、Lightning Experience、および Salesforce モバイルアプリケーションで使用できます。

グローバルアクション

グローバルアクションも [設定] から作成しますが、オブジェクト固有のアクションを作成したときとは場所が異なります。グローバルアクションを作成するには、[設定] から [クイック検索] ボックスに「アクション」と入力し、[グローバルアクション] を選択します。グローバルアクションと呼ばれる理由は、アクションがサポートされているどの場所にも配置できるためです。

グローバル作成アクションにより、ユーザはオブジェクトレコードを作成することができますが、新規レコードと他のレコードとの間に直接リレーションはありません。

ユーザが活動の詳細を記録できるようにするには、[活動の記録] アクションをグローバルレイアウトに追加します。たとえば、ユーザは、Salesforce Classic のグローバルページ ([ホーム] ページや Chatter タブなど)、または Salesforce モバイルアプリケーションの [フィード] ページまたは [グループ] ページから活動を記録できます。Lightning Experience では、グローバルレイアウトの [活動の記録] アクションは [グローバルアクション] メニューに表示されます。

特定のオブジェクトとのリレーションを持つレコードの使用をユーザに要求しないToDoに対してグローバルカスタムアクションを作成するには、Visualforceページ、Lightningコンポーネント、またはキャンバスアプリケーションを使用します。詳細は、「[カスタムアクション](#)」(ページ40)を参照してください。

メモ:

- 主従関係の従オブジェクトであるオブジェクトのレコードを作成するアクションは、グローバルアクションではなくオブジェクト固有のアクションである必要があります。
- 顧客を含むChatterグループの場合、グローバル作成、活動の記録、およびカスタムアクションはサポートされず、標準Chatterアクション([投稿]、[ファイル]、[リンク]、[アンケート]など)のみが表示されます。

オブジェクト固有のアクションまたはグローバルアクションを作成した後、アクションをSalesforceアプリケーションに表示するには、ページレイアウトまたはグローバルパブリッシャーレイアウトにアクションを追加する必要があります。詳細は、「[アクションとページレイアウト](#)」(ページ41)を参照してください。

オブジェクト固有のアクションおよびグローバルアクションでサポートされるオブジェクトのリストについては、Salesforceヘルプの「[オブジェクト固有のアクション](#)」および「[グローバルクイックアクション](#)」を参照してください。

その他のアクション種別

作成したクイックアクションはグローバルまたはオブジェクト固有にできますが、Salesforceでは他の種類のアクションも使用できます。他の種別のアクション(一部はSalesforceで事前定義されたアクション)もユーザに提供することができます。

アクションには、Chatter標準アクション、デフォルトアクション、モバイルスマートアクション、カスタムアクション、生産性アクションなどの複数のカテゴリがあります。

- 標準Chatterアクション—標準Chatterアクションは、Chatterが有効になっている場合にのみ使用できます。標準Chatterアクションは、[投稿]、[ファイル]、[リンク]、[アンケート]、[質問]、[感謝] (Work.com)、および[お知らせ] (グループ)です。
- デフォルトアクション—デフォルトアクションは、組織のシステム管理者とユーザがアクションの使用を開始できるようにするための事前定義済みアクションのセットです。

- モバイルスマートアクション—モバイルスマートアクションは、デフォルトアクションと同じオブジェクトのリストでサポートされる事前定義済みアクションのセットです。モバイルスマートアクションは、ページレイアウトエディタに単一のアクション要素として表示されます。Salesforceモバイルアプリケーションでは、モバイルスマートアクション要素が異なる作成アクションに展開され、ユーザがレコードをアクションバーから直接作成できるようになります。
- カスタムクリックアクション—カスタムクリックアクションは、自分で作成およびカスタマイズする、[レコードを作成]、[メールを送信]、[活動の記録]などのアクションです。定義した機能を備えた Lightning コンポーネント、フロー、Visualforce ページ、またはキャンバスアプリケーションを呼び出すこともできます。カスタムアクションは、グローバルまたはオブジェクト固有にすることができます。また、サブタイプに分割できます。これについては後ほど説明します。
- 生産性アクション—生産性アクションは事前定義され、限られたオブジェクトのセットに適用されます。生産性アクションには、[メールを送信]、[電話]、[地図]、[Web サイトを表示]、[ニュースを閲覧]が含まれます。[電話] アクション以外の生産性アクションを編集または削除することはできません。

Salesforce フルサイトで使用可能なアクションは、組織で Chatter、フィード追跡、およびパブリッシャーのアクションが有効になっているかどうかに応じて異なります。

Salesforce モバイルアプリケーションのアクションには、Chatter またはパブリッシャーのアクションが有効になっているかどうかは影響しません。Chatter の有効化がアクションの表示に与える影響については、「[Chatter が有効な場合と無効な場合のアクション](#)」(ページ 85)を参照してください。

アクションレイアウト

オブジェクトレコードページにカスタマイズ可能なページレイアウトがあるのと同じように、アクションにもカスタマイズ可能なアクションレイアウトがあります。アクションレイアウトでレコードを追加、削除、または並び替えて、ユーザがアクションの実行時に必要とする重要な項目のみを表示できます。

グローバルアクションのレイアウトをカスタマイズするには、[設定]から[クリック検索]ボックスに「アクション」と入力し、[グローバルアクション]を選択します(Salesforce Classic の場合は、[パブリッシャーレイアウト]をクリックします)。次に、リストのグローバルアクションの横にある[レイアウト]をクリックします。

オブジェクト固有アクションのレイアウトをカスタマイズするには、オブジェクトの管理設定で [ボタン、リンク、およびアクション]を見つけます。

- Salesforce Classic を使用している場合は、[設定]から、[クイック検索]ボックスにオブジェクト名を入力し、[ボタン、リンク、およびアクション]を選択し、リストのアクションの横にある[レイアウト]をクリックします。
- Lightning Experience を使用している場合は、[設定]から、ページの上部にある[オブジェクトマネージャ]をクリックします。リストからオブジェクトを選択して、[ボタン、リンク、およびアクション]をクリックします。アクションの名前の横にある[編集]をクリックします。

作成したアクションのレイアウトを初めて表示する場合、対象オブジェクトのデフォルト項目、標準必須項目、全般的に必須のカスタム項目など、特定の項目は事前入力されます。

レイアウトに含める項目を指定するには、アクションレイアウトエディタを使用します。

Action: New Contact

Save Quick Save Preview As... Cancel Undo Redo

Contact Fields

Blank Space	Birthdate	Description	Fax	Lead Sou
Account Name	Contact Owner	Do Not Call	Fax Opt Out	Level
Assistant	Data.com Key	Email	Home Phone	Mailing A
Asst. Phone	Department	Email Opt Out	Languages	Mobile

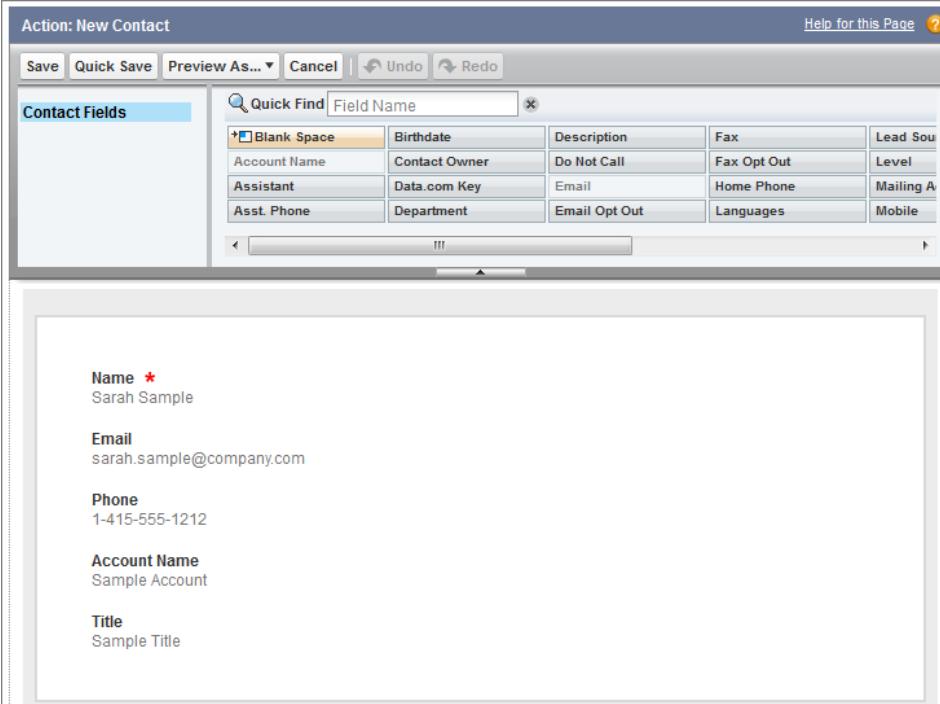
Name *
Sarah Sample

Email
sarah.sample@company.com

Phone
1-415-555-1212

Account Name
Sample Account

Title
Sample Title



アクションレイアウトエディタの上部にはパレットがあり、パレットの下にアクションレイアウトがあります。パレットに含まれるのは、アクションの対象オブジェクトからアクションレイアウトに追加可能な項目ですが、サポートされていない次の種別の項目は除外されます。

- レコードタイプ項目
- 積み上げ集計項目、数式項目、自動採番項目など、参照のみの項目種別
- [作成者] や [最終更新者] など、参照のみのシステム項目

無効な項目

アクションレイアウト上にすでに置かれている項目は、パレットにも表示されますが無効になります。パレット上で無効になっている項目を選択すると、Salesforce では、アクションレイアウト上のその項目が強調表示されます。

項目種別の変換

項目の種別をアクションでサポートされている種別からサポートされていない種別に変換すると、項目はアクションレイアウトから削除されます。アクションレイアウトを変更せずに項目をサポートされている種別に再変換した場合、項目は自動的にレイアウトに再追加されます。アクションレイアウトを編集してから項目をサポートされている種別に再変換した場合は、項目を手動でレイアウトに再追加します。

[活動の記録] アクションに使用されるレイアウト

[活動の記録] アクションでは、次の場合を除き、有効な ToDo のページレイアウトが使用されます。

- 組織にオブジェクトの [活動の記録] カスタムアクションが存在する場合。カスタムアクションでは、それに定義されたカスタムアクションレイアウトが使用されます。
- 組織に [活動の記録] カスタムグローバルアクションが存在する場合。このアクションでは、それに定義されたカスタムレイアウトが使用されます。ただし、オブジェクトの [活動の記録] カスタムアクションも存在する場合を除きます(オブジェクトのカスタムアクションにより、カスタムグローバルアクションが上書きされます)。

単純な [新規 ToDo] フォームを Salesforce モバイルアプリケーションユーザに表示するには、[活動設定] でフォームを有効にし、使用するレイアウトに [件名] 項目が含まれていることを確認します。

レイアウト監査

Salesforceでは、アクションレイアウトのカスタマイズが設定変更履歴で追跡されます。

アクションの定義済みの値の使用

アクションの特定の項目に対して定義済みの値を設定すると、モバイルユーザの生産性が向上し、同時にモバイル環境のアクションを最適化することができます。

アクションレイアウトを設定するときは、使用する項目数が少ないほうが便利です。ほとんどのユーザー(特にモバイルユーザ)は、多くの必須項目に入力することを好みません。作業をすばやく完了して、次の操作に進むことを希望します。アクションレイアウトで使用する項目数を削減するには、できる限り多くの項目に定義済みの値を使用します。定義済みの値を設定できる項目が多くなれば、レイアウトから削除できる項目が増え、アクションを簡単かつ迅速に使用できるようになります。使いやすさと必須情報の量のバランスを取ってください。ただし、必須項目については、アクションレイアウトから削除する場合は必ず定義済みの値を設定してください。このようにしないと、そのアクションをユーザが適用するときに、レコードが正しく保存されなくなります。

アクションを使用して作成したオブジェクトレコードの項目に定義済みの値を設定すると、それらの項目をアクションレイアウトに追加する必要がなくなります。たとえば、ユーザが商談を作成できるようにするアクションを設定するときに、[フェーズ]項目の定義済みの値として[見込み客]を設定します。そのアクションを使用してユーザが新規に作成するすべての商談は、[見込み客]フェーズに自動的に割り当てられます。[フェーズ]項目には値が自動的に割り当てられるため、この項目をアクションのレイアウトから削除できます。

オブジェクト固有アクションに定義済みの値を設定するには、オブジェクト管理設定からオブジェクトを選択し、[ボタン、リンク、およびアクション]セクションまでスクロールダウンします。グローバルアクションに定義済みの値を設定するには、[クイック検索]ボックスに「アクション」と入力し、[グローバルアクション]を選択します。どちらの場合も、アクションリストページでアクション名をクリックしてから、[定義済み項目値]関連リストで[新規]をクリックします。

アクションレイアウトエディタで使用できる任意の項目に定義済みの値を設定できます。ただし、次の項目は除きます。

- 複数選択リスト
- 自動採番項目、数式項目、積み上げ集計項目など、参照のみの項目種別

アクションの項目の定義済みの値は、レコードの項目に設定できるデフォルト値とは異なります。項目がアクションに含まれている場合は、アクションの定義済みの値のセットおよびデフォルト値のセットの両方を設定できます。アクションの項目に定義済みの値とデフォルト値のセットの両方が含まれている場合、デフォルト値ではなく定義済みの値がアクションで使用されます。

オブジェクト固有のアクションでは、ソースオブジェクトおよびその関連オブジェクトへの参照を定義済みの値に含めることができます。

！ ヒント: 必須項目をアクションレイアウトから削除できますが、項目に事前定義値があることを確認してください。定義済みの値がない場合は、レコードを作成できません。

カスタムアクション

カスタムアクションは、定義した機能を備えた Lightning コンポーネント、フロー、Visualforce ページ、またはキャンバスアプリケーションを呼び出します。

オブジェクト固有およびグローバルのカスタムアクションを作成できます。

オブジェクト固有のカスタムアクションで Lightning コンポーネント、フロー、Visualforce ページ、またはキャンバスアプリケーションを呼び出すことで、オブジェクトレコードにリレーションを持つレコードをユーザが操作または作成できます。オブジェクト固有のカスタムアクションの Visualforce ページには、関連するオブジェクト用の標準コントローラを含める必要があります。たとえば、ユーザが取引先責任者の Twitter プロファイルをインポートし、その情報を取引先責任者レコードに追加することができるカスタムアクションを作成するには、標準取引先責任者コントローラを使用します。

特定のオブジェクトとのリレーションを持つレコードの使用をユーザに要求しない ToDo に対してグローバルカスタムアクションを作成するには、Visualforce ページ、Lightning コンポーネント、またはキャンバスアプリケーションを使用します。カスタムアクションとして使用するキャンバスアプリケーションでは、場所としてパブリッシャーが必要です。Lightning コンポーネントをカスタムアクションからコールするには、組織に [私のドメイン] をリリースする必要があります。グローバルカスタムアクションとして使用する Visualforce ページでは、標準コントローラが使用できません。

たとえば、ユーザが住所を入力して地図、現地時間、現地の天候を表示するカスタムアクションを作成するとします。このアクションでは、標準コントローラを一切使用しない Visualforce ページを作成し、それをカスタムグローバルアクションとして追加します。

Visualforce カスタムアクションは、通常のオブジェクト固有のアクションまたはグローバルアクションを作成するのと同じ方法で作成します。ただし、アクション種別を選択するときには、[レコードを作成] や [活動の記録] ではなく、[カスタム Visualforce] を選択します。次に、アクションに使用する Visualforce ページを選択します。

キャンバスアプリケーションのカスタムアクション作成はより複雑であるため、ここでは詳細には説明しません。キャンバスアプリケーションとカスタムアクションについての詳細は、『[Salesforce アプリケーション開発者ガイド](#)』を参照してください。

-  **メモ:** 顧客を含む Chatter グループの場合、グローバル作成、活動の記録、およびカスタムアクションはサポートされず、標準 Chatter アクション ([投稿]、[ファイル]、[リンク]、[アンケート] など) のみが表示されます。

アクションとページレイアウト

Salesforce フルサイトと Salesforce アプリケーションの両方にアクションが表示されるようにするには、アクションをページレイアウトに追加する必要があります。

グローバルページレイアウト

グローバルページとはどのようなものでしょうか。例を挙げると、[ホーム] ページ、[ユーザプロファイル] ページ、および Chatter ホームページはすべて、Salesforce Classic のグローバルページです。これらのページに表示されるアクションは、グローバルパブリッシャーレイアウトによって決定します。グローバルパブリッシャーレイアウトはページレイアウトに似ていますが、[Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] および [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションのみが含まれます。

グローバルパブリッシャーレイアウトにより、各種 Salesforce インターフェースに表示されるグローバルアクションが決まります。Salesforce Classic および Lightning Experience の場合、これらのレイアウトでグローバルページ ([ホーム] ページなど) や Chatter ページのアクションをカスタマイズします。Lightning Experience では、これらのレイアウトを使用して [グローバルアクション] メニューの入力も行います。また、Salesforce アプ

リレーションの場合、これらのレイアウトにより、[フィード]ページと[人]ページのアクションバーに表示されるアクションが決まります。グローバルパブリッシャーレイアウトには、グローバルアクションのみを含めることができます。

ユーザプロファイルに応じて異なるグローバルパブリッシャーレイアウトを割り当てることで、グローバルページでユーザにデフォルトで表示されるアクションをカスタマイズできます。

カスタムグローバルパブリッシャーレイアウトを作成する、またはデフォルトのグローバルレイアウトをカスタマイズするには、[設定]から [クイック検索] ボックスに「パブリッシャーレイアウト」と入力し、[パブリッシャーレイアウト]を選択します。グローバルパブリッシャーレイアウトの定義が完了したら、[パブリッシャーレイアウトの割り当て]をクリックして、レイアウトをユーザプロファイルに割り当てます。

オブジェクトページレイアウト

オブジェクト固有のアクションは、割り当てられたオブジェクトのページレイアウトにのみ追加できます。一方、グローバルアクションは、アクションをサポートするオブジェクトであれば、どのオブジェクトのページレイアウトにも追加できます。

オブジェクトページレイアウト(取引先、商談、取引先責任者など)に表示されるアクションは、ページレイアウトエディタを使用してカスタマイズできます。オブジェクトのページレイアウトの [Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] セクションに追加したアクションは、Salesforce フルサイトのそのオブジェクトの Chatter パブリッシャーに表示されます。オブジェクトのページレイアウトの [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションに追加したアクションは、Salesforce アプリケーションのオブジェクトのレコードページのアクションバーに表示されます。

ページレイアウトの [Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] セクションをカスタマイズしていない場合、そのオブジェクトのパブリッシャーに表示されるアクションは、デフォルトのグローバルパブリッシャーレイアウトに割り当てられたアクションになります。上書きされると、グローバルパブリッシャーレイアウトに割り当てられていたアクションに関係なく、アクションはデフォルトの標準アクション([投稿]、[ファイル]、[リンク]、[アンケート]、[質問]、[感謝])になります。

ページレイアウトの [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションをカスタマイズしていない場合、そのオブジェクトのアクションは、デフォルトの事前定義済みアクションのセットになります。[Salesforce Classic パブリッシャーの

[クリックアクション] セクションのアクションをカスタマイズしてレイアウトを保存している場合、[Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションは、[Salesforce Classic パブリッシャーのクリックアクション] セクションのアクションと、クリックして上書きしたときにレイアウトに存在していた標準またはカスタムボタンを継承します。

アクションのガイドラインとベストプラクティス

アクションは、ユーザがすばやく作業を行うために非常に有効な方法です。システム管理者は、ユーザに必要な的確なアクションを提供するという重要な役割を果たします。

どのような種類のアクションを作成するかを検討するとき、または実際にアクションを作成するときも、次の推奨事項を考慮してください。

- アクションレイアウトをカスタマイズするときは、ユーザがそれで何を実行するかを考慮します。最小限に抑えることが重要です。モバイルユーザにとって、また、これらのアクションから発生するケース、通話、レコードを処理するすべてのユーザにとって必要な項目のみを含めます。
- アクションを簡易ナビゲーションショートカットとして使用しないでください。アクションは機能の実行を目的として設計されています。
- アクションにタスク指向の名前を付け、ユーザに機能がわかるようにします。新規、作成、共有、更新、インポートのような用語を使用します。名前は内容を簡潔に説明するものにします。
- どこからでもアクセスでき、特定のオブジェクトに結び付けられていないアクションをユーザが必要としている場合は、グローバルアクションを作成します。
- 各アクションに関する作成者自身のメモを作成するには、[説明] 項目を使用します。メモはたとえば、さまざまなレコードタイプで似たアクションを複数作成する場合に特に便利です。説明は、オブジェクト固有のアクションのボタン、リンク、アクションのリストまたはグローバルアクションのリスト、およびアクションの詳細ページに表示されます。作成者のメモはユーザには表示されません。
- アクションレイアウトに追加できる項目数にハードリミットはありません。ただし、最適な使いやすさを得るため、項目は8個以下にすることをお勧めします。20項目以上を追加すると、ユーザの効率が大幅に低下します。レイアウトの項目数を減らすには、必須項目の定義済みの値を作成して、その項目をレイアウトから削除します。項目の定義済みの値は、アクションの詳細ページから設定できます。

第6章

Visualforce ページおよび Salesforce アプリケーション

トピック:

- Salesforce アプリケーションへの Visualforce ページの取り込み
- Salesforce アプリケーションでの Visualforce ページのサポート

Visualforce を使用して Salesforce アプリケーションを拡張し、モバイルユーザが外出中に必要な機能を提供できます。

たとえば、選択した取引先の場所を Google マップでモバイルユーザに表示する Visualforce ページを含めることができます。Salesforce アプリケーションでは、このページが取引先コードの関連情報ページにモバイルカードとして表示されます。

SalesforceアプリケーションへのVisualforceページの取り込み

VisualforceページをSalesforceアプリケーションに表示するには、そのページのモバイルでの使用を有効にする必要があります。これを行うには、[設定]で [クイック検索] ボックスに「Visualforce ページ」と入力し、[Visualforceページ]を選択してから、ページ名の横にある[編集]をクリックし、そのページの [Lightning Experience、Lightning コミュニティ、およびモバイルアプリケーションで利用可能] チェックボックスをオンにします。

- !**ヒント:** Visualforceページをモバイル用に有効にしても、自動的にモバイルで使いやすくなる訳ではありません。既存のVisualforceページをSalesforceアプリケーションに公開する前に、携帯端末やタブレットでそれらがどのように表示され、機能するかを確認します。多くの場合、モバイルフォームファクタ専用の新しいページを作成する必要があります。

Visualforceページは、Salesforceアプリケーションユーザインターフェースの次の領域に表示できます。

- Visualforceタブを介したナビゲーションメニュー
- カスタムアクションを介したアクションバー
- レコードの関連情報ページ上のモバイルカード
- 上書きされた標準ボタン、またはカスタムボタンおよびカスタムリンク
- レコード詳細ページレイアウトへの埋め込み
- Lightningページ

Visualforceを使用したSalesforceアプリケーションのカスタマイズについて詳しく調べ、アプリケーションのページを設計するときに使用する多くのベストプラクティスを見つけるには、『[Salesforceアプリケーション開発者ガイド](#)』のVisualforceの章を参照してください。

SalesforceアプリケーションでのVisualforceページのサポート

SalesforceアプリケーションでVisualforceページを操作する場合は、次の考慮事項に留意してください。

- Visualforceページによって上書きされた標準タブ、カスタムオブジェクトタブ、およびリストビューはサポートされません。Visualforceページはフルサイトのユーザに表示されますが、Salesforceアプリケーションユーザには、オブジェクトのデフォルトのSalesforceページが表示されます。この制限は、オブジェクトに対するSalesforceアプリケーションの操作性を維持するために設定されています。
- メタデータAPIを使用してApexPageオブジェクトの`isAvailableInTouch`項目を編集することによって、SalesforceアプリケーションのVisualforceページを有効にすることもできます。

トピック:

- オフライン中の Salesforce アプリケーションのデータへのアクセス
- オンライン中またはオフライン中の Salesforce アプリケーションでコードの作成、編集、および削除(ベータ)
- Salesforce アプリケーションがオフライン時に使用できるデータおよび UI 要素
- Salesforce アプリケーションのオフラインアクセスおよび編集を有効化

モバイル接続ができないときでも、モバイルユーザの生産性を保つことができます。キャッシュとオフライン編集を有効にすると、地下鉄での通勤、航空規制、携帯電波の不調、受信状況の悪いビルの谷間などに遮られることなく、作業を継続できます。オフラインアクセスは Salesforce for Android および Salesforce for iOS で使用できます。ベータバージョンのオフライン編集には、バージョン 10.0 の Salesforce for Android または Salesforce for iOS が必要です。

[設定] からキャッシュとオフライン編集を管理するには、[クリック検索] ボックスに「オフライン」と入力し、[Salesforce オフライン] を選択します。

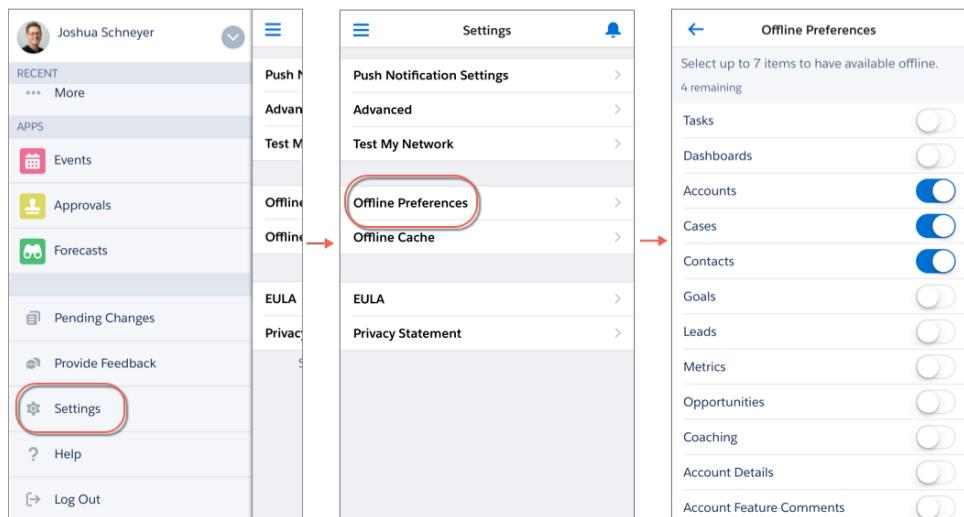
オフライン中のSalesforce アプリケーションのデータへのアクセス

Salesforce アプリケーションのキャッシュを有効にすると、Salesforce for Android および Salesforce for iOS ユーザはオフラインでの作業中、またはモバイルアプリケーションが Salesforce に接続できないときに、重要なデータを表示できます。アプリケーションでは、ユーザが最近アクセスしたレコードのセットがキャッシュされるので、接続しなくとも参照ができます。また、Salesforce セッション中にユーザがアクセスするデータの多くもキャッシュに追加されます。キャッシュデータは暗号化され、安全な永続データストアに保存されます。

Salesforce for Android および Salesforce for iOS のいずれかが組織に初めてインストールされたときに、Salesforce アプリケーションのキャッシュは有効になります。

ユーザのキャッシュの内容で、モバイルデバイスがオフラインの場合にアクセスできるデータが決まります。キャッシュがどのように最初に作成され、Salesforce アプリケーションセッション中に更新されるかについて説明します。

- メモ:** セッションは、アプリケーションのログインからログアウトまでの時間です。他のアプリケーションに切り替えて、現在のアプリケーションがバックグラウンドに移行しても、セッションは終了しません。
- ユーザがログインしたとき、キャッシュは空です。キャッシュが空の状態で、ユーザのデバイスがオフラインになると、Salesforce データは使用できません。
- キャッシュをカスタマイズするには、ナビゲーションメニューに移動し、[設定] > [オフライン個人設定]を選択して、オフラインで使用可能にする最大7個の項目を選択します。気が変わったユーザは、簡単にここに戻って新しい項目を選択できます。



ユーザがキャッシュをカスタマイズしない場合、最近アクセスした5個のオブジェクトで最近アクセスした最大30個のレコードがユーザのキャッシュに入力されます。これらのレコードに加えて、[自分のToDo]にリストされているユーザのToDo、および最近アクセスした5個のダッシュボードがキャッシュされます。ただし、ユーザが[オフライン個人設定]ページから少なくとも1つの項目を選択した場合、この選択によって既存のキャッシュがユーザの新しい個人設定で置き換えられます。

最近アクセスしたレコードは、アプリケーションと Salesforce フルサイト (Salesforce Classic および Lightning Experience) の両方でのユーザの活動によって決まります。

ユーザがキャッシュをカスタマイズするか、最近アクセスしたレコードの設定のままにするかに関わらず、2つの方法でキャッシュにデータをすばやく入力できます。別のアプリケーションに切り替えるか、デバイスのホーム画面に移動して Salesforce をバックグラウンドに移行することで、キャッシュにデータを入力できます。または、Salesforce ナビゲーションメニューに移動して、[設定] > [オフラインキャッシュ] > [今すぐキャッシュ] を選択することができます。

 **ヒント:** Salesforceにログインするたびにユーザがキャッシュを作成することをお勧めします。これで、ユーザはオフライン時に有意義なデータセットを確実に使用できます。

ユーザのレコードのサイズと複雑さによりますが、キャッシュには数秒から数分かかることがあります。キャッシュが完全に更新される前にオフラインになると、使用できるはずのレコードの一部が使用できません。

ユーザが最初にキャッシュを入力した後は、次の2通りの方法でキャッシュを更新できます。前回のキャッシュ更新から1時間以上が経過している場合、別のアプリケーションに切り替えるか、デバイスのホーム画面に移動して Salesforce をバックグラウンドに移行することで、キャッシュを更新できます。または、ナビゲーションメニューに移動して、[設定] > [オフラインキャッシュ] > [今すぐキャッシュ]を選択して、手動でキャッシュを更新できます。

- セッション中、ユーザがアクセスする他のレコードの多くもキャッシュに追加されます。(すべての Salesforce データをオフラインで使用できるわけではありません。[「Salesforce アプリケーションがオフライン時に使用できるデータおよび UI 要素」](#)を参照してください。)
- レコードはユーザのキャッシュに 30 日間保持されます。同じレコードにアクセスするたびに、クロックはリセットされます。30 日間アクセスがなかったレコードは自動的にキャッシュから削除され、ユーザがレコードに再度アクセスするまでオフラインでは使用できません。
- Salesforce からログアウトすると、キャッシュからすべてのデータが削除されます。次回ユーザがログインすると、キャッシュの生成プロセスが最初から開始されます。

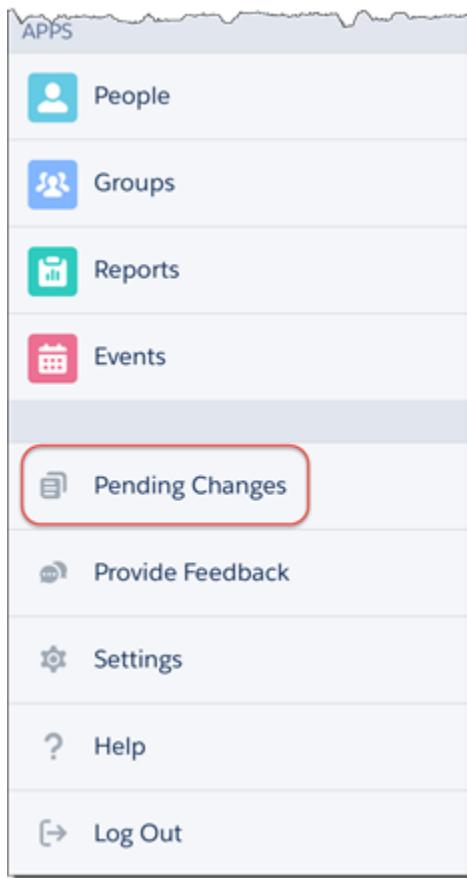
オンライン中またはオフライン中の Salesforce アプリケーションでレコードの作成、編集、および削除 (ベータ)

Salesforce for Android ユーザおよび Salesforce for iOS ユーザは、オンラインでもオフラインでも、レコードの作成、編集、削除ができるほか、[待機中の変更] ページからすべての変更を追跡できます。Salesforce アプリケーションはこの待機中の変更を Salesforce に自動的に同期し、解決する必要のある競合がある場合は、ユーザに警告します。ベータバージョンのオフライン編集には、バージョン 10.0 以降の Salesforce for Android または Salesforce for iOS が必要です。

-  **メモ:** 今回のリリースには、ベータバージョンのオフライン編集が含まれています。機能の品質は高いですが、既知の制限があります。組織でこの機能を有効にするには、「[Salesforce アプリケーションのオフラインアクセスおよび編集を有効化](#)」を参照してください。オフライン編集は、Salesforceがドキュメント、プレスリリース、または公式声明で正式リリースを発表しない限り、正式リリースされません。特定期間内の正式リリースあるいはリリースの有無は保証できません。現在正式にリリースされている製品および機能に基づいて購入をご決定ください。オフライン編集に関するフィードバックや提案は、[Trailblazer コミュニティの IdeaExchange](#) に投稿してください。

更新の追跡

オンラインまたはオフライン中の変更はすべて [待機中の変更] ページで追跡できます。このページは、Salesforce アプリケーションナビゲーションメニューから使用できます。



更新の状況について

オンライン中またはオフライン中の変更の状況を監視できるように、Salesforce アプリケーションの[待機中の変更]ページ、オブジェクトホームページ、更新されたレコードの[特長]領域にビジュアルインジケータがあります。

- オンラインまたはオフライン中の変更に対する競合がないことを示します。レコードは、Salesforceに正常に同期された後に[待機中の変更]ページに表示されなくなります。
- 変更に対して、解決する必要のある競合があることを示します。

- 変更がオンライン中に行われた場合は、すぐに が表示され、競合があることが示されます。
- 変更がオフライン中に行われた場合は、ネットワーク接続が回復したときに が表示されて、競合があることが示されます。

待機中の変更に競合がある理由には、次のものがあります。

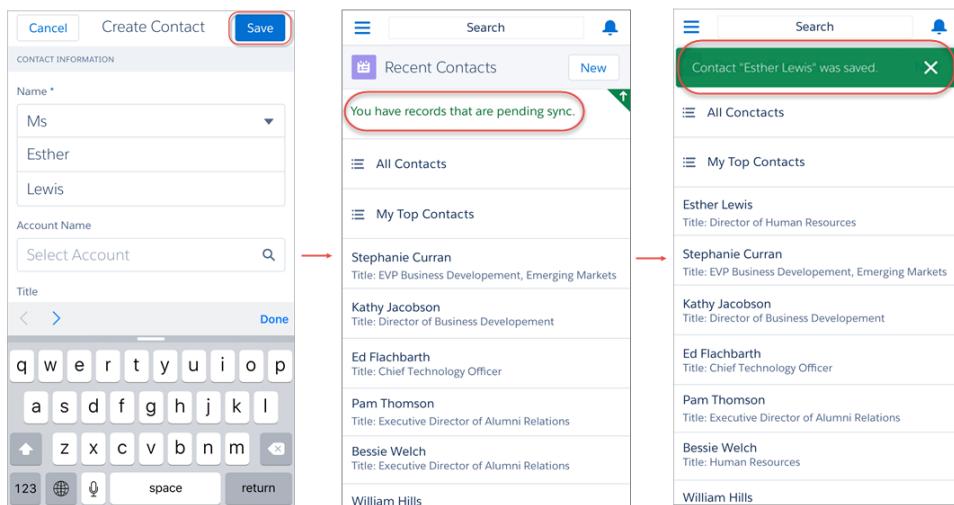
- 入力規則のエラー
- Apex トリガエラー
- ワークフロールールエラー
- 重複ルールエラー

オンラインまたはオフラインに関係なくレコードの保存時に競合が発生した場合、ユーザは [待機中の変更] ページに移動してエラーの詳細を確認する必要があります。ユーザは、 が表示されているレコードをタップして、[競合データの解決] ページに移動し、問題を解決できます。競合を解決すると、レコードは、Salesforce に正常に同期された後に [待機中の変更] ページに表示されなくなります。

- エラーが発生したことを示します。
 - 変更がオンライン中に行われた場合は、すぐに が表示されて、エラーが発生したことが示されます。
 - 変更がオフライン中に行われた場合は、ネットワーク接続が回復したときに が表示されて、エラーが発生したことが示されます。
- が表示されているレコードをユーザがタップすると、エラーを修正するために、そのレコードの編集ページに移動します。

まれに、エラーが解決できない場合があります。たとえば、オフライン中にレコードが編集され、別のユーザがそのレコードを Salesforce から削除した場合、その変更に表示される は解決できません。この場合、ユーザができるることは、[待機中の変更] ページからその解決不可能な変更を破棄することのみです。

第7章 Salesforce アプリケーションをオフラインで使用



オフライン編集で更新できるデータの完全なリストについては、「[Salesforce アプリケーションがオフライン時に使用できるデータおよびUI要素](#)」を参照してください。

Salesforce アプリケーションがオフライン時に使用できるデータおよび UI 要素

Salesforce アプリケーションのキャッシュとオフライン編集を使用して、Salesforce for Android および Salesforce for iOS ユーザはアクセス頻度の高いオブジェクトとレコードの多くのオフライン中に利用できます。次に、オフラインで使用できるデータおよび Salesforce アプリケーションユーザインターフェース要素のリストを示します。

Salesforce データ/Salesforce アプリケーション要素	オフラインで参照可能	オフラインで作成、編集、または削除可能 (データ)
ナビゲーションメニュー	可	なし
アクションバー	可	編集アクション: 可 削除アクション: 可 その他のアクション: 不可

Salesforce データ/Salesforce アプリケーション要素	オフラインで参照可能	オフラインで作成、編集、または削除可能 (ベータ)
グローバル検索	現在のセッションでの以前の検索結果	なし
リストビュー	現在のセッションで参照済みの場合	不可
最近のオブジェクトのコード	可 (Salesforce アプリケーションナビゲーションメニューの [最近] セクションに表示される最初の 5 個のオブジェクト (ファイルを除く) で最近アクセスしたレコード)	可 (Salesforce アプリケーションナビゲーションメニューの [最近] セクションに表示される最初の 5 個のオブジェクト (ファイルを除く) で最近アクセスしたレコード)
その他のオブジェクトのコード	現在のセッションで参照済みの場合	現在のセッションで参照済みの場合
関連レコード	現在のセッションで参照済みの場合	現在のセッションで参照済みの場合
Salesforce Today	現在のセッションで参照済みのメインページおよびモバイル行動レコード	不可
Salesforce の行動	現在のセッションで参照済みの場合	作成: 不可 編集と削除: 現在のセッションで参照済みの場合
ToDo	[私の ToDo] リストの最初のページで最近アクセスした ToDo のみ	[私の ToDo] リストの最初のページで最近アクセスした ToDo のみ (簡単な [新規 ToDo] フォームが無効になっている必要があります)

第7章 Salesforce アプリケーションをオフラインで使用

Salesforce データ/Salesforce アプリケーション要素	オフラインで参照可能	オフラインで作成、編集、または削除可能 (データ)
メモ	現在のセッションで参照済みの場合	作成: 可 編集: 現在のセッションで参照済みの場合 削除: 不可
ファイル	現在のセッションで参照済みの場合	不可
ダッシュボード (拡張グラフ)	最近アクセスしたグラフのみ	不可
ダッシュボード (従来のグラフ)	不可	不可
フィード、グループ、人	現在のセッションで参照済みの場合	不可
通知	現在のセッションで参照済みの場合	なし
承認 (申請、承認、却下)	不可	不可
Visualforce ページ	不可	不可
キャンバスアプリケーション	不可	不可
Lightning ページ	不可	不可
Salesforce アプリケーションの設定	可	なし

Salesforce アプリケーションセッションとは、アプリケーションへのログインからログアウトまでの時間です。Salesforce アプリケーションから他のアプリケーションに切り替えるても、ユーザがログアウトしない限りセッションは終了しません。

Salesforce アプリケーションのオフラインアクセス および編集を有効化

数回のクリックで、Salesforce アプリケーションユーザはモバイル接続の不安定さから開放されます。2つのレベルのオフラインアクセスを有効にできます。1つはアクセス頻度の高いレコードをキャッシュするもので、オフライン中のデータの参照が可能となります。もう1つはオフライン編集で、オフライン中にレコードの作成、編集、および削除が可能となります。オフラインアクセスは Salesforce for Android および Salesforce for iOS でのみ使用できます。ベータバージョンのオフライン編集は、Salesforce for Android および Salesforce for iOS のバージョン 10.0 以降で使用できます。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「オフライン」と入力し、[Salesforce オフライン] を選択します。
2. オフライン中にデータを参照できるようにするには、[Salesforce for Android/iOS のキャッシュを有効化] を選択します。
Salesforce for Android および Salesforce for iOS のいずれかが組織に初めてインストールされたときに、このオプションは自動的に有効になります。
3. オフライン中にレコードを更新できるようにするには、[Salesforce for Android/iOS のオフライン作成、編集、削除を有効化] を選択します。
Salesforce アプリケーションのキャッシュが無効な場合、このオプションは使用できません。
4. [保存] をクリックします。

エディション

Salesforce アプリケーションの設定を使用可能なインターフェース: Salesforce Classic と Lightning Experience の両方

Lightning Experience で使用可能なエディション:

Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、および
Developer Edition

Salesforce Classic で使用可能なエディション:

Database.com Edition を除くすべてのエディション

ユーザ権限

Salesforce アプリケーションの設定を参照する

- 設定・定義を参照する

Salesforce アプリケーションの設定を変更する

- アプリケーションのカスタマイズ
- すべてのデータの編集



ヒント: [Salesforce for Android/iOS のキャッシュを有効化] を有効にしておくことをお勧めします。この設定を有効にすると、キャッシュされたデータをオフラインで使用できるだけでなく、以前アクセスしたレコードの表示が高速になります。全体のパフォーマンスも向上します。キャッシュを無効にすると、Salesforce for Android および Salesforce for iOS では、セッションを維持するために必要な最小限のデータのみが保存されます。この場合、レコード詳細とフィード項目が表示されるたびに、アプリケーションでは更新する必要があるため、パフォーマンスに影響がある場合があります。

トピック:

- Salesforce アプリケーションのブランド設定のしくみ
- Salesforce アプリケーションのブランド設定のヒント

Salesforce アプリケーションを会社のブランドの側面に合わせてカスタマイズし、モバイルユーザにアプリケーションが認識されるようにすることができます。カスタムブランド設定は、すべてのバージョンの Salesforce アプリケーションに表示されます。

Salesforce アプリケーションのブランド設定のしくみ

Salesforce アプリケーションのブランド設定をカスタマイズできます。[設定]から、[クリック検索] ボックスに「Salesforce ブランド」と入力し、[Salesforce ブランド]を選択します。

前提条件

Salesforce アプリケーションをカスタマイズするためにアップロードした画像は、Salesforce Branding Resources というドキュメントフォルダに保存されます。このため、システム管理者が Salesforce アプリケーションのブランド設定ページを表示および変更するには、事前にドキュメントオブジェクトが組織で有効になっている必要があります(ただし [ドキュメント] タブは表示されなくともかまいません)。

Salesforce モバイル Web のユーザにカスタムブランド設定を表示するには、ドキュメントが組織で有効になっている必要があります。Salesforce for Android および Salesforce for iOS の場合、ユーザにはドキュメントに対する「参照」ユーザ権限も必要です。

カスタマイズ可能な内容

要素	説明
ブランドの色	ヘッダー、ボタン、検索バーなど、主要なユーザインターフェース要素の色。 選択したブランドの色に基づいて、ナビゲーションメニューの境界線、通知リスト、ボタンテキストなどのユーザインターフェースに対比色が自動的に定義されます。 編集および作成ウィンドウや、アクションバーのアクションから開かれるウィンドウなど、フロート表示、ポップアップ、およびダイアログのヘッダーは、この設定による影響を受けません。これらのヘッダーは、ユーザが情報の表示のみではなく、アクションを実行していることを視覚的に示すために、常に白になります。

要素	説明
読み込み中ページの色	モバイルユーザがログインした後に表示される読み込み中ページの背景色。
読み込み中ページのロゴ	モバイルユーザがログインした後に表示される読み込み中ページの画像。 最適な結果を得るには、許容される最大サイズの画像を使用することをお勧めします。最大画像サイズは、460 x 560 ピクセルです。

Salesforceアプリケーションのログインページのブランド設定をカスタマイズすることもできます。ログインページを変更するには、[私のドメイン]を有効化する必要があります。会社のSalesforceアプリケーションのログインページをカスタマイズするには、「[ブランドを使用した\[私のドメイン\]ログインページのカスタマイズ](#)」を参照してください。

Salesforceアプリケーションのブランド設定のヒント

Salesforceアプリケーションのブランド変更を検討している場合、次のヒントを参考にしてください。

- 配色、フォント、その他のブランド設定の変更を検討している場合は、[『Salesforceアプリケーションスタイルガイド』](#)を参照してください。
- ロゴ画像を作成するときは、必ず圧縮してください。多くの画像編集プログラムで、このプロセスは「圧縮を使用」、「画像の最適化」、「Web用に保存」、「Web用に圧縮」などと呼ばれています。
- デスクトップモニタだけでなくユーザベースと同じデバイスを使用して、Salesforceアプリケーションでロゴが正しく表示されることを確認します。各デバイスの画面サイズとピクセル密度に応じて、画像は異なる縮尺率または縦横比で表示される可能性があります。

第8章 独自の Salesforce アプリケーションにするためのカスタムブランド設定の使用

- Salesforce アプリケーションでは、カスタムブランド設定要素に .png、.gif、および .jpg 画像形式がサポートされていますが、最適な結果を得るために .png を使用することをお勧めします。
- 次のインターフェース要素はカスタマイズできません。
 - モバイルデバイスのホーム画面に表示される Salesforce アプリケーションアイコン。
 - Salesforce for iOS 起動時の初期読み込み中画面。この読み込み中画面は、ログインページでユーザに入力が要求される前に表示されます。
- カスタムブランド設定の変更を表示するには、アプリケーションを閉じてから再度ログインする必要があります。

第9章 補足

Salesforceで実行できる操作を確認するには、次のリソースが役立ちます。

[Salesforce アプリケーション公開ガイド](#)

組織を設定し、Salesforce アプリケーション用にカスタマイズしたら、アプリケーションをユーザに公開しましょう。公開を正常に行うための Salesforce の 5 つの手順を確認するには、このサイトを参照してください。

[Salesforce アプリケーション開発者ガイド](#)

一連のチュートリアルと Developer Edition 組織のサンプルデータを使用して Salesforce アプリケーションについて説明する、システム管理者および開発者向けの複合ガイドです。ページレイアウト、コンパクトレイアウト、アクション、カスタマイズ、Visualforce、キャンバスアプリケーション、カスタムアクションの章があります。

[Trailhead モジュール: Salesforce モバイルの基本](#)

Developer Edition 組織での演習、課題への挑戦、バッジの獲得を通して、ブラウザで Salesforce アプリケーションについて対話形式で楽しく学べます。

[\[Salesforce ヘルプ & トレーニング\] ポータル](#)

Salesforce のヘルプドキュメント専用のサイト。作業に必要なヘルプを参照し、質問への回答を見つけ、ヒントシートやその他のガイドをダウンロードできます。

[Salesforce Trailblazer コミュニティ](#)

Salesforce での円滑な作業に役立つ非常に便利なツールが揃っています。Salesforce カスタマー、パートナー、製品専門家、従業員とつながりを持ち、学習し、質問に関する回答を取得し、新しいアイデアを共有してください。

第10章 付録

トピック:

- Salesforce モバイル アプリケーション のアクションバー でのアクションの 順序
- Salesforce モバイル アプリケーション のアクションバー およびリスト項目 アクションでの定 義済みアクション の順序
- Chatter が有効な場 合と無効な場合の アクション
- Salesforce アプリ ケーション機能: 各 バージョンで使用 可能な機能
- Salesforce のエディ ションおよびライ センス

このガイドの目的の1つは、システム管理者が、複雑な場合がある Salesforce アプリケーションの環境内を容易に移動して操作できるようにすることです。これらの付録には、エディションとライセンスの情報、各 Salesforce アプリケーションの機能サポートの違いを示す表など、便利な補足資料が含まれています。

Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバーでのアクションの順序

ページレイアウトおよびグローバルパブリッシャーレイアウトの [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションによって、Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバーに表示されるアクションが決まります。また、クイックアクション、生産性アクション、およびアクションとして使用可能な標準ボタンとカスタムボタンの順序のカスタマイズもできます。

レイアウトの [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションをカスタマイズすると、モバイルアプリケーションにそのカスタマイズが反映されます。

[Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] セクションをカスタマイズするが、Salesforce モバイルアプリケーションセクションはカスタマイズしない場合、モバイルアプリケーションのアクションバーのアクションは、[Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] セクションのアクションに、ページレイアウトに存在する標準またはカスタムボタンを組み合わせたものになります。

[Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションをカスタマイズしても、ページレイアウトのボタンセクションにある標準ボタンとカスタムボタンは、アクションリストに自動的には組み込まれません。パレットの [モバイルおよび Lightning のアクション] カテゴリのアクションとしてボタンを追加する必要があります。

どちらのセクションもカスタマイズされていない場合、アクションバーには Salesforce で事前定義されているデフォルトのアクションのセットが継承されます。この一連のアクションは、各オブジェクトに必要な最も一般的または典型的な活動に基づいて、オブジェクトごとに異なります。

エディション

使用可能なインター
フェース: Salesforce Classic
および Lightning Experience
の両方

使用可能なエディション:
Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、**Contact Manager Edition**、
Database.com Edition、お
および **Developer Edition**

Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバーおよびリスト項目アクションでの定義済みアクションの順序

Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバーおよびリスト項目アクションでのアクションの表示順序は、組織のページレイアウトやパブリッシャーレイアウトで制御されます。ページレイアウトまたはグローバルパブリッシャーレイアウトでアクションバーのアクションをカスタマイズしない場合、主要アクションの場所は Salesforce によって事前に定義されます。

! **重要:** この定義済み順序は、オブジェクトのページレイアウトまたはグローバルパブリッシャーレイアウトで [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションをカスタマイズしていない場合にのみ Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバーに適用されます。

定義済みのクリックアクションセットは、オブジェクトページレイアウトまたはグローバルパブリッシャーレイアウトの [Salesforce Classic パブリッシャーのクリックアクション] セクションのアクションから派生します。

オブジェクトページレイアウトで Salesforce モバイルアプリケーションセクションがカスタマイズされていない場合

[Salesforce Classic パブリッシャーのクリックアクション] セクションでアクションをカスタマイズしている場合、アクションバーのクリックアクションにそのカスタマイズが反映されます。

どちらのセクションもカスタマイズされていない場合、アクションバーのクリックアクションはグローバルパブリッシャーレイアウトの [Salesforce Classic パブリッシャーのクリックアクション] セクションから取得されます。

グローバルパブリッシャーレイアウトで Salesforce モバイルアプリケーションセクションがカスタマイズされていない場合

[Salesforce Classic パブリッシャーのクリックアクション] セクションがカスタマイズされている場合、アクションバーのクリックアクションはそのカスタマイズを継承します。

どちらのセクションもカスタマイズされていない場合、グローバルページのアクションバーのクリックアクションは、デフォルトの Salesforce による定義済みセットになります。

アクションバー、リスト項目アクション、および関連付けられたアクションメニューの定義済みアクションは、複数のグループに分割されています。このグループの配置は固定されています。グループ内のアクションの順序は、オブジェクトと、グローバルパブリッシャーレイアウトまたはオブジェクトのページレイアウトに表示されるアクションに基づいて、変化する可能性があります。すべてのオブジェクトやページにすべてのグループが表示されるわけではありません。

- メモ:** リストビュー項目のアクションは、そのオブジェクトの定義済みのアクションセットのみを反映します。たとえば、Salesforceモバイルアプリケーションで[すべての取引先]リストを表示しているとします。リスト内で取引先項目を左にスワイプすると、一連のアクションが表示されます。このアクションは、このグラフの取引先の定義済みのアクションリストから取得されます。[電話]、[編集]、[削除]は常に表示されます。リストビュー項目のその他のアクションは、グラフのアクショングループに対して定義された順番とルールに従います。

各オブジェクトまたはページの各グループでのアクションの分類の詳細を次に示します。

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
取引先	1.電話、2.新規ToDo、3.新規行動、4.投稿	5.編集	[Salesforce Classic パブリック シャーの クイック アクション] セクションの 残りのクイックアクション。そのセクションがカスタマイズされてい	[Salesforce モバイルアプリケーション] で定義された順序	Salesforce モバイルアプリケーションで定義された順序	テキストを送信 ([電話] 項目が指定されている場合)

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
--------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

ない場合、残りのクイックアクションはグローバルパブリッシュされ、シェアーリング・アウトの [Salesforce Classic パブリッシュ] シャーのクイックアクションン] セクションから継承されます。

ケース	[Salesforce Classic パブリッシュ]	編集	Salesforce モバイルアプリケーション	Salesforce モバイルアプリケーション
リッシャーのクイックアクションン] セクションのアクションン。そのセクション			プリケーションでサポートされる力。スタンボタン。	プリケーションでサポートされる残りの標準ボタン。
アクション			される力。スタンボタン。	される残りの標準ボタン。
ン] セクションのアクションン。そのセクション			タムボタン。	タムボタン。
アクション			ページレアウト	ページレアウト
ン。そのセクション			で定義さ	で定義さ

第10章 付録

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
ンがカスタマイズされていない場合、クイックアクションはグローバルパップリッシャーの [Salesforce Classic パップリッシャーの クイックアクション] セクションから継承されます。	された順序で表示されます。*	された順序で表示されます。				
取引先責任者	1.電話、2.メールを送信、3.新規ToDo、4.新規行動	5.編集	[Salesforce Classic パップリッシャーの クイックアクション] セクションから継承されます。	Salesforce モバイルアンド バックエンド	Salesforce モバイルアンド バックエンド	テキストを送信

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
イックアクション。そのセクションがカスタマイズされていない場合、残りのクイックアクションはグローバルパブリッシュされ、シャーレィアウトの [Salesforce Classic パブリッシュ] シャーのクイックアクション] セクションから継承されます。	アウトで定義された順序で表示されます。 [*]	アウトで定義された順序で表示されます。				
カスタムオブジェクト	最初の4つのパブリッシュ	5.編集	[Salesforce Classic パブリッシュ]	Salesforceモバイルアプリケーションで	Salesforceモバイルアプリケーションで	

第10章 付録

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
シャーアクション。ページで定義された順序で表示されます。	クイックアクション]セクションの残りのクイックアクションを表示するためのカスタマイズリツアード	サポートされるスタンボタン。	サポートボタン。	サポートボタン。	サポートボタン。	サポートボタン。
[Salesforce Classic パブリック シャーのクイックアクションをカスタマイズしていない場合は、最初の4つのアクションのカググローバルパブリック	されていない場合、残りのクイックアクションはグローバルパブリック	タマ	タマ	タマ	タマ	タマ
で定義されている順序で表示されます。	で定義された順序で表示されます。	で定義された順序で表示されます。	で定義された順序で表示されます。	で定義された順序で表示されます。	で定義された順序で表示されます。	で定義された順序で表示されます。

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
	示されます。		ら継承されます。			
行動	クイックアクション。レイアウトに定義された順序で表示されます。標準 Chatter アクションはサポートされていません。	編集、削除				
フィード	クイックアクション。グループ化された順序で表示されます。					
グループ	[Salesforce Classic パブリック シャーの			Salesforce モバイルアプリケーションで		

第10章 付録

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
	クイックアクション]セクション。そのセクションがカスタマイズされていない場合、クイックアクションはグローバルパブリックシャーレィアウトの [Salesforce Classic パブリックシャーの クイックアクション]セクションから継承されます。	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6

オブジェクトまたはページ	アクション 1 ングループ 1	アクション 2 ングループ 2	アクション 3 ングループ 3	アクション 4 ングループ 4	アクション 5 ングループ 5	アクション 6 ングループ 6
リード	1.活動の記録、2.新規ToDo、3.取り引の開始(有効な場合)、4.投稿	5.編集	[Salesforce Classic パブリック] シャーのクイックアクションのタブ	Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされる機能	Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされる機能	電話、テキストを送信、メールを送信

第10章 付録

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
--------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

アクション
ン]セク
ションか
ら継承さ
れます。

「アプリケーションページ」である Lightning ページ	グローバルアクション。 Lightning ページに定義された順序で表示されます。
--------------------------------	---

リストビュー	新規作成
--------	------

オブジェクトのホームページ(タブレットのみ)	1.新規作成、2.並び替え
------------------------	---------------

商談	1.活動の記録、2.新規ToDo、3.新規行動、4.投稿	5.編集	[Salesforce Classic パブリック] シャーのアクション] セクションの	Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされる力	Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされる残りの標準ボタン。
----	------------------------------	------	--	----------------------------------	--

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
			残りのクイックアクション。そのセクションがカスタマイズされていない場合、残りのクイックアクションはグローバルパブリックリッシャーの [Salesforce Classic パブリックリッシャーの] クイックアクション] セクションから継承されます。	ページレayoutで定義された順序で表示されます。	ページレayoutで定義された順序で表示されます。	ページレayoutで定義された順序で表示されます。
人	1.電話、2.メールを			残りのアクション。		

第10章 付録

オブジェクトまたはページ	アクション 1 プ	アクション 2 プ	アクション 3 プ	アクション 4 プ	アクション 5 プ	アクション 6 プ
送信、3.投稿	ローバル パブリック シャーレ イアウト に定義さ れた順序 で表示さ れます。					
個人取引先	1.電話、2.メールを送信、3.新規ToDo、4.新規行動	[Salesforce Classic パブリック シャーの クイック アクション] セクションの 残りのクイックアクション。そのセクションがカスタマイズされていない場合、残りのクイックアクションはグローバルパブリック リック	Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされる力	Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされる力	Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされる力	ニュースを閲覧、テキストを送信、Web サイトを表示

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
--------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

シャーレ
ayout
の
[Salesforce
Classic パブ
リッ
シャーの
クイック
アクショ
ン] セク
ションか
ら継承さ
れます。

関連リスト (標準オブジェクト用)

1. 新規作成

Salesforce Today — メインページ ネットワーク

クイックアクション。グローバル パブリック シャーレayout に定義された順序で表示されます。

Salesforce Today — モバイルカレンダー

1. 簡易メッセージ、2. カンファレンス

[Salesforce Classic パブリック]

第10章 付録

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
レンダーの行動	レンス コールに 参加、3.地 図					

シャーの
クイック
アクショ
ン]セク
ションの
残りのク
イックア
クショ
ン。その
セクショ
ンがカス
タマイズ
されてい
ない場
合、残り
のクイッ
クアク
ションは
グローバ
ルパブ
リッ
シャーレ
ィアウト
の
[Salesforce
Classic パブ
リッ
シャーの
クイック
アクショ
ン]セク
ションか

オブジェクトまたはページ	アクション 1 プ 1	アクション 2 プ 2	アクション 3 プ 3	アクション 4 プ 4	アクション 5 プ 5	アクション 6 プ 6
ら継承されます。						
ToDo	1.コメント の編集、2. 日付の変 更、3.状況 の変更、4. 優先度の 変更	5.編集	[Salesforce Classic パブ リッ シャーの クイック アクショ ン]セク ションの 残りのク イックア クシヨ ン。その セクショ ンがカス タマイズ されてい ない場 合、残り のクイッ クアク ションは グローバ ルパブ リッ シャーレ ayout の [Salesforce Classic パブ リッ	Salesforce モ バイルア プリケー ションで サポート されるカ スタムボ タン。 ページレ アウト で定義さ れた順序 で表示さ れます。 *ボタン。 ページレ アウト で定義さ れた順序 で表示さ れます。	Salesforce モ バイルア プリケー ションで サポート される残 りの標準 ボタン。 ページレ アウト で定義さ れた順序 で表示さ れます。	Salesforce モ バイルア プリケー ションで サポート される残 りの標準 ボタン。 ページレ アウト で定義さ れた順序 で表示さ れます。

第10章 付録

オブジェクトまたはページ	アクション 1	アクション 2	アクション 3	アクション 4	アクション 5	アクション 6
	シャーの クイック アクショ ン]セク ションか ら継承さ れます。 標準 Chatter アクショ ンはサ ポートさ れていま せん。					

前述のとおり、一部のアクションの位置は固定されています。表には番号付きリストが示されていますが、これは、アクションが、アクションバー、リスト項目アクション、およびそれぞれのアクションメニューに表示されるときの、固定された順序です。

たとえば、取引先オブジェクトでは、標準の [Chatter 投稿] アクションは 4 番目に表示されます。これは固定されています。[投稿] アクションを取引先ページレイアウトのどこに配置しているかに関係なく、常に 4 番目に配置されます。

ただし、アクションの削除は必ず考慮されます。この例では、取引先ページレイアウトから [投稿] アクションを削除すると、残りのアクションが上に移動するため、[編集] アクションが 4 番目に配置されます。

* ページレイアウトの [ボタン] セクションに追加されたカスタムボタン、および URL または Visualforce としてコンテンツソースを定義するカスタムボタンは、Salesforce モバイルアプリケーションでサポートされています。Salesforce モバイルアプリケーションで Visualforce ページが有効になっている必要があります。カスタムリンク、リストビューに追加されたカスタムボタン、および OnClick JavaScript としてコンテンツソースを定義するカスタムボタンは、Salesforce モバイルアプリケーションで使用できません。

Chatter が有効な場合と無効な場合のアクション

アクションは、Chatter またはパブリッシャーのアクションが有効かどうかに関係なく使用できます。

Salesforce フルサイトまたは Salesforce モバイルアプリケーションで使用可能なアクションは、組織の設定に応じて異なります。組織の Chatter を有効または無効にするには、[設定] から、[クイック検索] ボックスに

「Chatter 設定」と入力し、[Chatter 設定] を選択します。Chatter が有効になっている場合、[パブリッシャーのアクションを有効化] オプションによって、作成したアクションが Chatter パブリッシャーに表示されるかどうかが制御されます。

	Chatter オフ	Chatter オン	Chatter オンオフ
グローバルアクションの作成とグローバルアクションリストのカスタマイズが可能	はい	はい	はい
オブジェクト固有のアクションの作成とオブジェクト固有のアクションリストのカスタマイズが可能	はい	はい	はい
Salesforce フルサイトの [ホーム] ページと Chatter	いいえ	はい ¹	はい

エディション

使用可能なインター

フェース: Salesforce Classic および Lightning Experience の両方

クイックアクションを使用可能なエディション:

Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、**Contact Manager Edition**、
Database.com Edition、および **Developer Edition**

カスタムキャンバスを使用可能なエディション:

Professional Edition (Canvas が有効な場合)、**Enterprise Edition**、**Performance Edition**、**Unlimited Edition**、**Developer Edition**

	Chatter オフ、アクションオフ	Chatter オン、アクションオフ	Chatter オン、アクションオン
ホームページでのアクションの表示			
Salesforce フルサイトのオブジェクトフィードでのアクションの表示	いいえ	はい ^{1,2}	はい ²
アクションバーを Salesforce モバイルアプリケーションのフィードで使用可能	いいえ ³	はい ⁴	はい
アクションバーを Salesforce モバイルアプリケーションのレコードビューで使用可能	はい ⁵	はい ⁶	はい ⁶
アクションバーを Salesforce モバイルアプリケーションの Lightning ページで使用可能	はい ⁵	はい	はい

脚注:

1. パブリッシャーのアクションが有効になっていない場合、Salesforce フルサイト の Chatter パブリッシャーには、Chatter 標準アクション(投稿、ファイル、リンク、アンケート、および感謝)のみが表示されます。
2. Chatter フィードは、フィード追跡が有効になっているオブジェクトでのみ Salesforce フルサイトのオブジェクトの詳細ページに表示されます。
3. Chatter が無効になっている場合、フィード項目は Salesforce モバイルアプリケーションで使用できません。
4. Chatter が有効になっていてパブリッシャーのアクションが無効になっている場合、Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバー、およびアクションリストを使用するサードパーティアプリケーションには、Chatter 標準アクショ

ンと非標準アクションが表示されます。非標準アクションには、[作成]、[更新]、[活動の記録]、カスタムアクション、およびモバイルスマートアクションが含まれます。

5. Chatter とパブリッシャーのアクションが無効になっている場合、Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバー、またはアクションリストを使用するサードパーティアプリケーションには、非標準アクションのみが表示されます。非標準アクションには、[作成]、[更新]、[活動の記録]、カスタムアクション、およびモバイルスマートアクションが含まれます。
6. オブジェクトでフィード追跡が有効になっていない場合、Salesforce モバイルアプリケーションのアクションバー、およびアクションリストを使用するサードパーティアプリケーションには、非標準アクションのみが表示されます。非標準アクションには、[作成]、[更新]、[活動の記録]、カスタムアクション、およびモバイルスマートアクションが含まれます。

Salesforce アプリケーション機能: 各バージョンで使用可能な機能

Salesforce は、Android および iOS デバイスで Google Play および App Store から入手できます。また、サポートされているモバイルブラウザでモバイルWebとして使用することもできます。ほとんどの場合、これらのアプリケーションには同じ機能が組み込まれています。ただし、操作性にはいくつかの相違点があります。その多くは、Salesforce がサポートされるモバイルプラットフォームの相違点に関連します。

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
ナビゲーションおよびアクション			
オブジェクトあたり最大 200 リスト ビューにアクセス	✓	✓	✓
リストビューグラフにビジネスデータの ビジュアルスナップショットを表示		✓ (タブレット のみ)	

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
リストビューの並び替えおよび絞り込み	✓	✓	✓
電話をかける、活動を記録する、メールを送信するなどのアクションの実行 (通話は、iPhone およびAndroid 端末のみでサポートされています)	✓	✓	✓
組織で作成されたクイックアクションの使用	✓	✓	✓
標準住所項目でのGoogle マップ画像の表示	✓	✓	✓
検索			
Salesforce レコードの検索	✓	✓	✓
オブジェクトでレコードを検索するグローバル検索の範囲指定			✓
最近参照したレコードだけでなく、すべてのレコードを検索して一致した結果を表示			✓
検索結果の並び替え			
連動ルックアップ検索条件での結果の関連性向上	✓	✓	✓
検索キーワードに対する自動スペルチェックおよび修正の実行	✓	✓	✓
グローバル検索を使用した [すべての会社] フィード内の Chatter 投稿の検索			✓
Spotlight 検索を使用した Salesforce を開かない Salesforce データの検索		✓	
リレーションおよびデータ管理			

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
新規レコードの追加および既存のレコードの更新	✓	✓	✓
重複レコードの作成の回避	✓	✓	✓
ニュースによる重要な企業や業界に関する最新情報の入手	✓	✓	✓
取引先の会社ロゴの表示	✓	✓	✓
Salesforce取引先、取引先責任者、リードのTwitterプロフィールの特定、関連付け、および表示	✓	✓	✓
取引先責任者-to-複数取引先による取引先と取引先責任者間のリレーションの追跡	✓	✓	✓
モバイルデバイスの取引先責任者リストから取引先責任者を Salesforce に追加	✓	✓	
リードスコアの表示	✓	✓	✓
評価済みリードの取引先責任者への変換	✓	✓	✓
セールスプロセスを進め商談を成立させる商談でのパスの使用	✓	✓	✓
取引先チームと商談チームによる協働作業	✓	✓	✓
商品、見積、複数の影響のあるキャンペーンの商談への追加	✓	✓	✓
キャンペーンメンバー状況の管理	✓	✓	✓
売上予測データの参照		✓	
Salesforce 外に保存されたデータの操作	✓	✓	✓

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
生産性 (Salesforce Today、メモ、行動、ToDo、メール)			
Todayを使用して、1日の行動を準備および管理、カンファレンスコールに参加、Salesforceにモバイルカレンダーの行動を記録	✓	✓	
Todayの行動の取引先責任者をSalesforceに追加	✓	✓	
リッチテキストのミーティングメモの作成およびレコードへの簡単な関連付け	✓	✓	✓
メモへの画像の追加		✓	
メモからのToDoの作成	✓	✓	✓
Chatter投稿からのToDoの作成			✓
定期的なToDoとフォローアップToDoの作成	✓	✓	✓
ToDoを追跡する、閉じる、または再度開く	✓	✓	✓
ToDoをタップ操作ですばやく更新(コメントの編集や期日、状況、優先度の変更)	✓	✓	✓
Salesforceの行動の作成および表示	✓	✓	✓
SalesforceQInboxを使用したSalesforceからのメールの送信	✓	✓	
Work.com			
Work.comコーチング、目標、報奨、スキルの使用 (スキルはAndroidのみで使用可能)	✓	✓	✓

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
カスタマーサービスツール			
ケースおよびケースメールの操作	✓	✓	✓
ソーシャルカスタマーサービスを使用してケースを追跡し、Twitterにリアルタイムで返答	✓	✓	✓
Salesforce ナレッジ記事の参照			
納入商品を使用した購入済み商品の追跡	✓	✓	✓
作業指示(マイルストン、リンク済み記事、作業指示階層を含む)によるフィールドサービスの合理化	✓	✓	✓
Field Service Lightning によるスケジュールされたサービスの表示およびサービス提供先への移動	✓	✓	✓
レポートとダッシュボード			
ダッシュボード、ダッシュボードコンポーネント (Visualforce ダッシュボードコンポーネントを含む)、レポートの表示	✓	✓	✓
Lightning Experience レポート、ダッシュボード、およびグラフの表示	✓	✓	✓
レポートのデータの並び替え	✓	✓	✓
ダッシュボード検索条件の適用	✓	✓	✓
Chatter フィードでの拡張グラフのスナップショットの共有			✓
Salesforce Files			
Salesforce Files の使用	✓	✓	✓

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
Salesforce Files の使用 (Chatter が無効になっている場合)			✓
外部データソース (SharePoint、OneDrive for Business、Google ドライブ、Box など) のファイルの参照および共有 (Files Connect が必要)	✓	✓	✓
Microsoft Office 365 ファイルの編集	✓	✓	
コンテンツライブラリへのアクセス		✓	
Chatter (フィード、トピック、プロファイル、グループ)			
Chatter フィード、人、およびグループの使用	✓	✓	✓
メインの Chatter フィードでの検索	✓	✓	✓
Chatter 投稿のミュート			✓
トピックごとに整理されたフィードエントリの表示、編集、フォロー、および投稿への複数トピックの追加			✓
複数のレコード更新を1つの投稿にバンドル			✓
投稿またはコメントへの写真やファイルの添付、またはクイックアクションを使用した写真またはファイルの投稿	✓	✓	✓
Chatter 投稿の共有	✓	✓	
投稿およびコメントに投稿されたファイルのプレビューの表示	✓	✓	✓
ダブルタップによる Chatter 投稿のブックマークの追加または削除		✓	

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
フィードでの質問と回答の取得			✓
Chatterの質問をケースにエスカレーション			✓
ユーザプロファイルの詳細の編集	✓		✓
ユーザのプロファイル写真の変更	✓	✓	✓
グループ写真の追加	✓	✓	✓
レコードをグループに追加	✓	✓	✓
リストに記載しない Chatter グループでの プライバシーを確保したコラボレーション	✓	✓	✓
お知らせをグループフィードに投稿	✓	✓	✓
グループメンバーの追加を含むグループ の管理	✓	✓	✓
Chatter がオフの場合の Salesforce の使用	✓	✓	✓
Chatter がオフの場合の Salesforce でのク イックアクションの使用	✓	✓	✓
Chatter メール通知およびダイジェストリ ンクからの Salesforce の起動	✓	✓	✓
Salesforce コミュニティ			
Salesforce タブ + Visualforce テンプレートを 使用して作成されたコミュニティへのア クセス	✓	✓	✓
ビジネスロジックおよびプロセスの自動化			
レコードの承認申請	✓	✓	✓

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
未承認の状況の表示および承認申請の承認または却下	✓	✓	✓
一時停止中のフローインタビューの再開または削除	✓	✓	✓
通知			
アプリケーション内通知の受信	✓	✓	✓
転送通知の受信	✓	✓	
送信される転送通知の設定	✓	✓	
オフライン			
オフラインでの作業時にキャッシュされたデータの表示	✓	✓	
オフライン時に最近アクセスしたオブジェクトのレコードの作成、編集、削除(ペータ)	✓	✓	
アクセスおよびセキュリティ			
Salesforceログインページからパスワード管理アプリケーションを直接使用することによるログインの迅速化		✓	
ログインページからの複数のインスタンスへの接続の設定	✓	✓	
アプリケーション内での複数のSalesforceアカウントまたはコミュニティ間の切り替え	✓	✓	
さまざまなSalesforce URLを直接Salesforceで開く	✓	✓	

機能	Salesforce for Android	Salesforce for iOS	モバイル Web
セキュリティパスコードを使用したアプリケーションへのアクセスの制御	✓	✓	
接続アプリケーションセキュリティ設定を使用した業界のコンプライアンス規制への対応	✓	✓	
モバイルデバイス管理(MDM)を使用したセキュリティの強化	✓	✓	
カスタマイズおよびユーザ/アプリケーション設定			
Visualforce ページの表示	✓	✓	✓
Lightning ページ、カスタムアプリケーションおよびサードパーティアプリケーションへのアクセス	✓	✓	✓
アクションバーおよびリスト項目のアクションのカスタマイズされた選択および配置の参照	✓	✓	✓
カスタムブランドの参照	✓	✓	✓
項目レベルのヘルプの参照	✓	✓	✓

Salesforce のエディションおよびライセンス

Salesforce アプリケーションの使用がサポートされている Salesforce エディションとユーザライセンスの種類は、次のとおりです。

Salesforce エディション

Salesforce は次のエディションで使用できます。次のエディションでは使用できません。

- Personal Edition

- Database.com Edition

第10章 付録

- Group Edition
- Professional Edition
- Enterprise Edition
- Performance Edition
- Unlimited Edition
- Developer Edition
- Contact Manager Edition

ユーザライセンスの種類

Salesforce アプリケーションにアクセスできるユーザライセンスの種類は次のとおりです。特別なモバイルライセンスはありません。

- Salesforce ユーザ
- Salesforce Platform および Lightning Platform ユーザ
- Chatter Plus ユーザ (Chatter Only とも呼ばれる)、Chatter Free ユーザ、および Chatter External ユーザ*
- カスタマーコミュニティ、カスタマー コミュニティプラス、およびパートナー コミュニティの外部ユーザー
- Salesforce コミュニティのメンバーであるポータルユーザー
- ポータルユーザー (Salesforce コミュニティのメンバーである場合を除く)
- Database.com ユーザ
- サイトおよび Site.com ユーザ
- Data.com ユーザ
- Work.com ユーザ